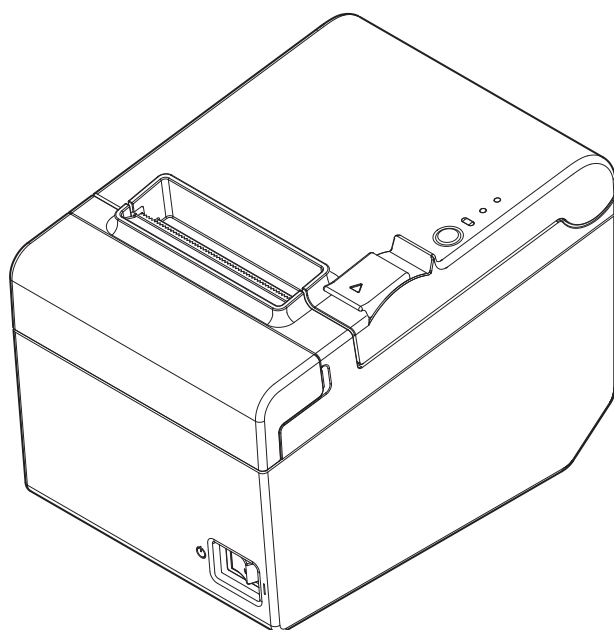


TM-T20III

詳細取扱説明書



製品概要

製品の特長について説明します。

セットアップ

製品および周辺機器の設置・設定作業について説明します。

高度な活用法

製品の高度な活用方法について説明します。

アプリケーション開発情報

本プリンターの制御方法と、アプリケーションを開発する際に必要な情報について説明します。

製品の取り扱い

製品の基本的な取り扱い方法について説明します。

TM-T20II からの置き換え

TM-T20IIから置き換える際の注意事項について説明します。

付録

製品仕様、インターフェイス仕様および文字コードについて説明します。

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断で転載、複製、改ざんすることは固くお断りします。
- 本書の内容については、予告なしに変更することがあります。最新の情報はお問い合わせください。
- 本書の内容については、万全を期して作成いたしました。万が一不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
- 運用した結果の影響については、上項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品がお客様により不適切に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修理・変更されたことなどに起因して生じた損害などにつきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- エプソン純正品およびエプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。

商標について

EPSON、EXCEED YOUR VISION および ESC/POS はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。

Microsoft および Windows は米国 Microsoft Corporation の米国、日本およびその他の国における登録商標です。

Wi-Fi[®]、WPA[™]、WPA2[™] は Wi-Fi Alliance[®] の登録商標または商標です。

Bluetooth[®] のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、セイコーエプソン株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。

Android は、Google Inc. の商標または登録商標です。

IOS は、米国およびその他の国における Cisco 社の商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。

その他の製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。

ESC/POS[®] コマンドシステム

エプソンは、独自の POS プリンターコマンドシステム、ESC/POS により、業界のイニシアチブをとってきました。ESC/POS は特許取得済のものを含む数多くの独自のコマンドを持ち、高い拡張性で多才な POS システムの構築を実現します。ほとんどのエプソン POS プリンターとディスプレイに互換性を持つほか、この独自の制御システムにはフレキシビリティもあるため、将来アップグレードが行ないやすくなります。その機能と利便性は世界中で評価されています。

©Seiko Epson Corporation 2019. All rights reserved.

安全のために

記号の意味

本書では以下の記号が使われています。それぞれの記号の意味をよく理解してから製品を取り扱ってください。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、次のような被害が想定される内容を示しています。 • 人が傷害を負う可能性 • 物的損害を起こす可能性 • データなどの情報損失を起こす可能性
 注意	ご使用上、必ずお守りいただきたいことを記載しています。この表示を無視して誤った取り扱いをすると、製品の故障や動作不良の原因になる可能性があります。
 参考	補足説明や知っておいていただきたいことを記載しています。

警告事項

 警告	• 感電の危険を避けるため、雷が発生している間は、本製品の設置およびケーブル類の取り付け作業を行わないでください。 • めれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。 感電のおそれがあります。 • 電源コードの取り扱いには注意してください。 誤った取り扱いをすると火災・感電のおそれがあります。 * 電源コードを加工しない。 * 電源コードの上に重いものを乗せない。 * 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない。 * 熱器具の近くに配線しない。 * 電源プラグはほこりなどの異物が付着したまま差し込まない。 * 電源プラグは刃の根元まで確実に差し込む。 • 必ず指定の AC アダプターを使用してください。 他の電源を使うと、火災のおそれがあります。 • 電源コードのたこ足配線はしないでください。 火災のおそれがあります。 • 煙が出たり、変な臭いや音がするなど異常状態のまま使用しないでください。 そのまま使用すると、火災の原因となります。すぐに電源ケーブルを抜いて、販売店またはサービスセンターにご相談ください。 • お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。 • 分解や改造はしないでください。 けがや火災・感電のおそれがあります。 • 本製品の内部に異物を入れたり、落としたりしないでください。 火災・感電のおそれがあります。
---	---



警告

- 万一、水などの液体が内部に入った場合は、電源ケーブルを抜き、販売店またはサービスセンターにご相談ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 本製品の内部や周囲で可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。
ガスが滞留して引火による火災などの原因となるおそれがあります。

注意事項



注意

- 本書で指示した以外の機器を接続しないでください。
故障・火災等を起こすおそれがあります。
- 不安定な場所（ぐらついた台の上や傾いた場所など）に置かないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがをするおそれがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。
故障や火災・感電のおそれがあります。
- 本製品の上に乗ったり、重いものを置かないでください。
倒れたり、壊れたりしてけがをするおそれがあります。
- マニュアルカッターに手や指を強く押し付けないように注意してください。けがをするおそれがあります。
 - * 印刷された用紙を取り出すとき
 - * ロール紙交換時 など
- 不用意にロール紙カバーを開けると、オートカッターの固定刃に手指などが接触し、けがをするおそれがあります。
- 本製品を長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

注意ラベル

本製品に貼ってあるラベルは、以下の注意事項を示しています。



注意：

使用中または使用直後は、サーマルヘッドや、横のフレームに触らないでください。印刷後は高温になっている場合があります。

使用制限

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。

本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、きわめて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認のうえ、ご判断ください。

電波障害自主規制について

この装置は、クラス A 機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

Bluetooth[®] インターフェイスに関する注意

電波放射について

電波放射の環境への影響について

本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として、認証を受けた無線モジュールを搭載しています。本機器に搭載している無線モジュールからは、他の無線機器（たとえば携帯電話など）が放出する電磁エネルギーよりもはるかに低く抑えられています。

ただし、他のデバイスやサービスに干渉の危険があるような特定の環境下では、本機器の使用が建物の所有者や団体の責任者などにより制限されることがあります。空港のように特定の環境下で、無線デバイスの使用が制限されるかどうかははっきり分からない場合は、電源を入れる前に本機器の使用許可について問い合わせをしてください。

周波数について

本製品は、2.4 GHz 帯の「2.402 GHz ~ 2.480 GHz」にて使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記の事項に注意してご使用ください。この無線機器は、2.4 GHz 帯を使用します。FH-SS 変調方式を採用し、与干渉距離は 20 m です。

2.4 FH 2

本製品使用上の注意

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および、特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、電波の発射を停止した上、販売店にご連絡いただき、混信回避のための処置など（たとえば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. そのほか、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局、またはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、販売店へお問い合わせください。

本書について

本書では、POS システムの開発、設計、設置、またはプリンターアプリケーションの開発、設計に必要な情報を開発技術者に提供することを、その目的としています。

本書の構成

本書は次のように構成されています。

第 1 章	製品概要
第 2 章	セットアップ
第 3 章	高度な活用法
第 4 章	アプリケーション開発情報
第 5 章	製品の取り扱い
第 6 章	TM-T20II からの置き換え
付録	製品仕様 インターフェイスとコネクタ仕様 文字コード表

もくじ

■ 安全のために	3
記号の意味	3
警告事項	3
注意事項	4
■ 注意ラベル	4
■ 使用制限	4
■ 電波障害自主規制について	5
■ Bluetooth® インターフェイスに 関する注意	5
電波放射について	5
■ 本書について	6
本書の構成	6
■ もくじ	7

製品概要.....9

■ 特徴	9
■ 製品構成	10
モデル	10
アクセサリ	10
■ 各部の名称と働き	11
LED ランプ	12
コネクタ	13
■ ステータスとエラー	14
オンラインとオフライン	14
自動復帰エラー	14
復帰可能エラー	15
復帰不可能エラー	15
ステータス表示	16
■ NV メモリー	17
NV グラフィックスメモリー	17
ユーザー NV メモリー	17
メモリスイッチ (カスタマイズバリュウ)	17
R/E (レシートエンハンスメント)	17
ユーザー定義ページ	18
メンテナンスカウンター	18
■ スマートデバイスのための便利な機能	19
QR コード	19

セットアップ.....20

■ セットアップの流れ	20
■ プリンターの設置	21
縦置きの場合	21
壁掛け設置の場合	22
■ ロール紙ニアエンド検出位置の調整	24
■ AC アダプターの接続	25
接続手順	25
■ ホストとの接続	26
USB インターフェイス	26
有線 LAN インターフェイス	27
Bluetooth インターフェイスの場合	27
■ キャッシュドローアーの接続	28
キャッシュドローアーの要求仕様	28
ドローアーキックケーブルの接続方法	29
■ 外付けオプションブザーの接続	30
接続方法	30
■ パワースイッチカバーの取り付け	32
■ 紙幅の変更	33

高度な活用法.....34

■ ソフトウェア設定	34
機能	35
■ 設定 / 確認モード	42
セルフテストモード	44
NV グラフィックス情報印字モード	45
R/E (レシートエンハンスメント) 情報印字モード	46
ソフトウェア設定モード	46
初期設定値復元モード	48
インターフェイス設定モード	49
接続デバイス情報印字モード	49
16 進ダンプモード	50
■ ステータスシートの印刷	51
■ インターフェイス設定の初期化	53

アプリケーション開発情報.....54

■ プリンターの制御方法	54
ePOS-Print XML	54
ESC/POS	54
■ キャッシュドロアーの制御方法	55
■ 外付けオプションブザーの制御方法	56
■ ソフトウェア	57
開発キット	57
ドライバー	58
ユーティリティ	58
その他	59
ダウンロード	59
■ iOS 用アプリケーション開発および 配布について	60

製品の取り扱い61

■ ロール紙のセットと交換	61
■ ロール紙が詰まったときは	63
ロール紙カバーが開かないとき	63
■ プリンターのお手入れ	65
外装面のお手入れ	65
サーマルヘッド / プラテンローラーのお手入れ	65
■ 輸送時の処置	66

TM-T20II からの置き換え.....67

■ 互換情報	67
印刷	67
印字速度	67
ロゴの登録	67
ドライバーの互換性	67
外形寸法	68

付録69

■ 製品仕様	69
印刷仕様	70
文字仕様	71
用紙仕様	72
印刷領域	73
印刷位置とカッターの位置	74
電氣的仕様	75
環境仕様	76
外形寸法図	77
■ インターフェイスとコネクタ仕様	78
USB インターフェイス	78
有線 LAN インターフェイス	79
■ 文字コード表	80

製品概要

本章では、製品の特長を説明しています。

特徴

印字

- 高速レシート印字が可能（最大印字速度 250 mm/s）
- ロール紙幅の 80 mm から 58 mm への切り替えが可能

使い勝手

ロール紙を投げ込むだけの簡単な用紙セット

ソフトウェア

- ESC/POS[®] に準拠した制御コマンド採用による高い汎用性
- Windows ドライバー、OPOS ADK、OPOS ADK for .NET 等を用意
- 各種バーコード、GS-1 DataBar、2 次元シンボル（PDF417、QR コード、MaxiCode、Composite Symbology、Aztec Code、DataMatrix）の印刷が可能
- メンテナンスカウンター機能搭載
- 豊富な言語対応（コードページ、Windows ドライバー、ユーティリティ）

インターフェイス

購入時に各種インターフェイスモデルを選択可能

環境

- 国際エネルギースタープログラムに適合
- 用紙節約機能搭載

その他

- 横置き、縦置き、壁掛け設置が可能
- オプションの外付けブザーを装着可能

製品構成

モデル

- Bluetooth[®] インターフェイスモデル
- Ethernet/USB インターフェイスモデル

アクセサリ

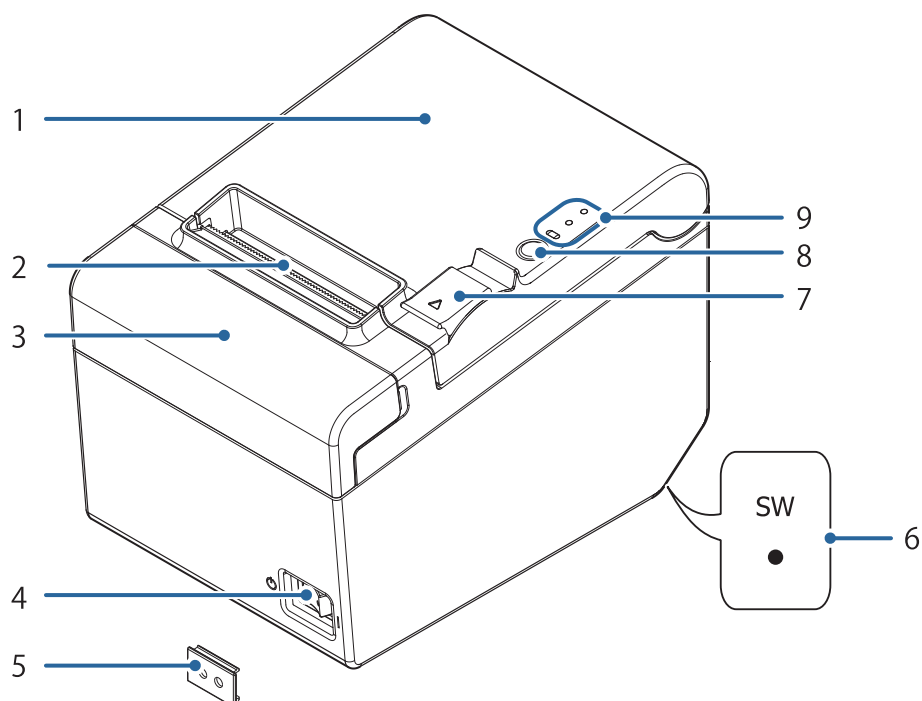
付属品

- ロール紙（動作確認用）
- パワースイッチカバー
- パワースイッチソフトカバー
- 壁掛け金具
- 縦置き用ゴム足
- 紙幅 58mm 用ロール紙ガイド
- AC アダプター
- インターフェイスケーブル
- AC ケーブル
- ユーザーズガイド

オプション

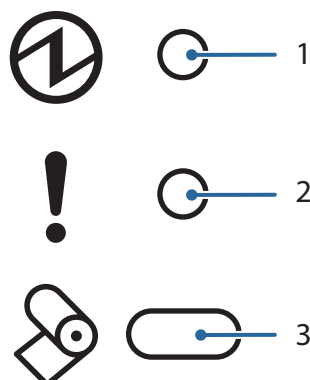
- プリンター固定用テープ（型番：DF-10）
- 外付けブザー（型番：OT-BZ20）

各部の名称と働き



1	ロール紙カバー	ロール紙をセット / 交換するときに開けるカバーです。
2	マニュアルカッター	ロール紙を手で切るときに使うカッターです。
3	カッターカバー	紙詰まりなどでロール紙カバーが開かないときに、このカバーを開けてオートカッター刃のロックを解除します。
4	 パワースイッチ	このボタンを押して、電源を入れたり切ったりします。( : OFF / : ON)
5	パワースイッチカバー	パワースイッチに取り付けると、パワースイッチの誤操作を防止できます。パワースイッチカバーにある穴に先の細いものを差し込むことによって、パワースイッチを操作できます。 取り付け方は 32 ページ「パワースイッチカバーの取り付け」 を参照してください。
6	ステータスシートボタン (Ethernet インターフェイスモデルのみ)	インターフェイスに関するステータスシートを印刷したり、インターフェイスに関する設定を初期化したりする場合に使用します。
7	カバーオープンレバー	ロール紙カバーを開けるときに使用します。
8	 紙送りボタン	このボタンを 1 回押すと、ロール紙が 1 行分送り出されます。押し続けると、連続的に紙が送られます。
9	LED ランプ	LED ランプの詳細は、 12 ページ「LED ランプ」 を参照してください。

LED ランプ



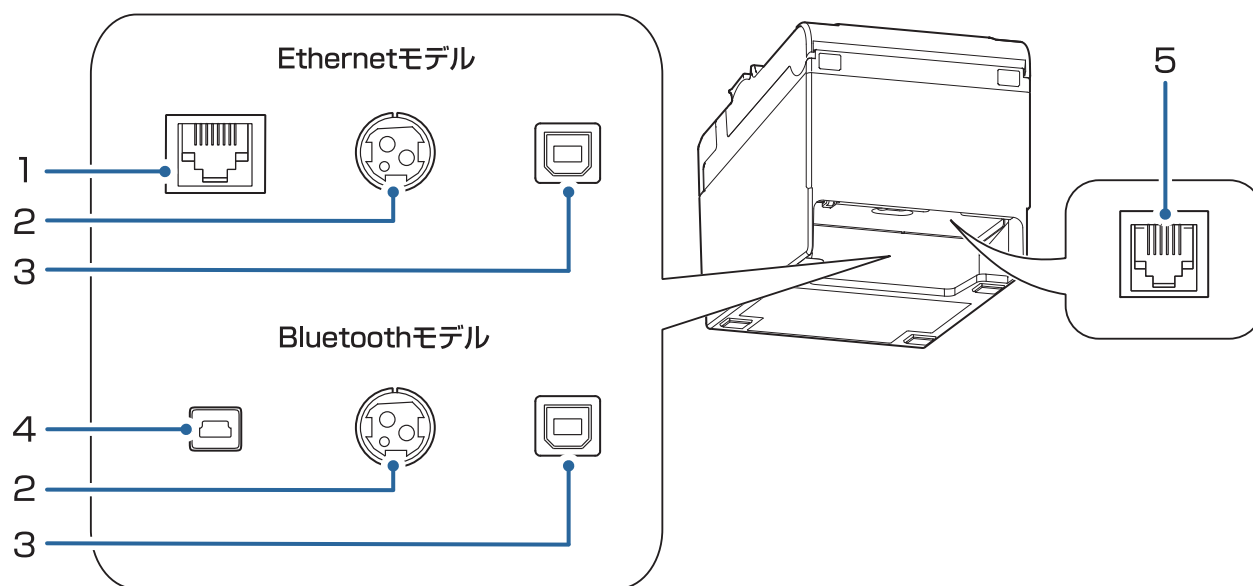
1	① パワー LED	- 電源が入っているときは、点灯します。 - 電源が切れているときは、消灯します。
2	! エラー LED	プリンターが印刷できない状態（オフライン中）のとき、点灯または点滅します。（点灯・点滅パターンについては、14 ページ「ステータスとエラー」を参照してください。） - 電源オン直後、またはリセット直後（オフライン状態）に点灯します。しばらくした後に自動的に消灯し、印刷可能な状態となります。 - ロール紙の終わりを検出し、印刷が停止したとき（オフライン状態）に点灯します。この場合は、新しいロール紙に交換してください。 - 通常時（オンライン中）は、消灯します。
3	📄 ペーパー LED	- ロール紙がなくなったときは、点灯します。用紙ニアエンドセンサーを「有効」に設定している場合、ロール紙のニアエンドを検出したときにも点灯します。 - ロール紙が十分に残っているときは、消灯します。 - セルフテスト継続待ち、またはマクロ実行待ちのときは、点滅します。

コネクター

コネクターはすべて、プリンター背面に配置されています。

注意

モデルによって搭載されているインターフェイスは異なります。



1	Ethernet コネクター	10BASE-T/100BASE-TX LAN ケーブルを接続します。
2	電源コネクター	AC ケーブルを接続します。 25 ページ「AC アダプターの接続」
3	USB (Type B) コネクター	コンピュータに接続する USB ケーブルを接続します。
4	USB (mini B) コネクター	保守用途でのみ使用できます。印刷用には使用できません。 注意： 通常使用時は USB ケーブルを接続しないでください。
5	ドロアーキックコネクター	キャッシュドロアーまたはオプションの外付けブザーを接続します。 28 ページ「キャッシュドロアーの接続」 30 ページ「外付けオプションブザーの接続」

ステータスとエラー

LED の点灯 / 点滅によってプリンターの状態が表示されます。

注意

エラー発生時は印刷できません。

オンラインとオフライン

オンライン

オフラインに移行する事象が発生していない場合、プリンターはオンラインになり、通常の印刷ができる状態になります。

オフライン

次のような状態では、プリンターは自動的にオフラインになります。

- 電源入 / 切処理中の状態
- セルフテスト実行中
- 紙送りボタンを使用しての紙送り実行時
- 紙なしで印刷停止したとき（ロール紙エンド検出器の紙なし検出時）
- 操作待ち状態
- エラー発生時（[14 ページ「ステータスとエラー」](#)）
- ロール紙カバーのオープン中

自動復帰エラー

自動復帰エラーが発生すると印刷できません。下記の復帰条件を満たすと、プリンターは自動で復帰します。

エラー名	エラーの内容	エラー LED の状態	復帰条件
ロール紙カバー オープンエラー	印刷中にロール紙カバー が開いた	点灯	ロール紙カバーを閉じる
ヘッドの高温エラー	サーマルヘッド駆動条件 から外れた高温度を検出 した	点灯	サーマルヘッドの温度が 低下する

復帰可能エラー

復帰可能エラーが発生すると印刷できません。エラー要因を取り除いた後、ロール紙カバーを閉めるか、電源を入れ直す、もしくはエラー復帰コマンドを送ることによって、通常の状態に復帰できます。

エラー名	エラーの内容	エラー LED の状態	復帰条件
オートカッターエラー	オートカッターに異常が発生した	点灯	紙詰まり / 異物混入を除去し、ロール紙カバーを閉めることにより復帰

注意

エラー復帰コマンドは、復帰可能エラー（自動復帰エラーを除く）発生時のみ有効です。

参考

TM-T20III Utility から復帰条件を変更することができます。詳細は、TM-T20III Utility ユーザーズマニュアルを参照してください。

復帰不可能エラー

復帰不可能エラーが発生すると印刷できません。電源を入れ直しても同じエラーが発生する場合は、故障の可能性があります。販売店またはサービスセンターにご相談ください。



注意

復帰不可能エラーが発生した場合は、すぐに電源をオフしてください。

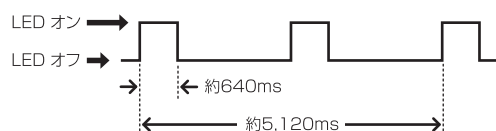
エラー名	エラーの内容	エラー LED 点滅パターン
メモリー R/W エラー	リードライトチェック後、正常に動作しない	
高電圧エラー	電源電圧が高い	
低電圧エラー	電源電圧が低い	
CPU 実行エラー	CPU が不正なアドレスを実行している	
内部回路接続エラー	内部回路の接続が正常でない	

ステータス表示

	パワー LED	エラー LED	ペーパー LED
オンライン	点灯	消灯	消灯
電源 ON 後の初期化中	点灯	点灯	-
セルフテスト実施中	点灯	消灯	-
セルフテスト続行待ち	点灯	消灯	点滅
紙送りボタンによる紙送り中	点灯	消灯	-
マクロ実行機能の実行待ち	点灯	消灯	点滅
非印刷中のロール紙カバーオープン	点灯	点灯	-
紙なし	点灯	点灯	点灯
ファームウェア書き換え中	点灯	点滅	点滅
ファームウェア強制書き換えモード中	点灯	点灯	点灯
電源 OFF 待機中	点灯	消灯	点滅
ネットワークリンクダウン	点灯	点滅 *	-
ステータスシート印字待ち	点灯	点灯	点滅

-: 紙の有無によって変わります。

*: エラー LED の点滅パターンは以下のとおりです。



NV メモリー

本プリンターには NV メモリー（Nonvolatile Memory: 不揮発性メモリー）が搭載されており、NV メモリーに保存されたデータは、電源をオフにしても保持されます。ユーザーが使用できる NV メモリーには以下のメモリー領域があります。

- NV グラフィックメモリー
- ユーザー NV メモリー
- メモリースイッチ（カスタマイズバリュー）
- R/E（レシートエンハンスメント）
- ユーザー定義ページ
- メンテナンスカウンター

**注意**

NV メモリーへの書き込み回数は、目安として 1 日 10 回以下になるようにアプリケーションを作成してください。

NV グラフィックスメモリー

レシートに印刷する店のロゴなどのグラフィックを複数登録できます。

グラフィックの登録は、TM-T20III Utility を使って行います。

登録したグラフィックは、NV グラフィックス情報印字モードで確認することができます。

参考

- TM-T20III Utility の使い方は、「TM-T20III Utility ユーザーズマニュアル」を参照してください。
- NV グラフィックス情報印字モードの詳細は、[45 ページ「NV グラフィックス情報印字モード」](#)を参照してください。

ユーザー NV メモリー

プリンターのカスタム設定やメンテナンス情報といった情報をテキストデータで保存し、必要なときに読むことができます。

メモリースイッチ（カスタマイズバリュー）

プリンターのさまざまな設定を行うことができます。

メモリースイッチの詳細は、[34 ページ「ソフトウェア設定」](#)を参照してください。

R/E(レシートエンハンスメント)

店のロゴなどのグラフィックを、レシートの始めと終わりに自動的に印刷するよう設定することができます。

グラフィックの登録は、TM-T20III Utility を使って行います。

ユーザー定義ページ

プリンターに登録されていない文字を、ユーザー定義ページ（文字コード表：ページ 255）に登録することによって印字できるようになります。

メンテナンスカウンター

プリンター稼動開始からの紙送行数、オートカッター動作回数、製品稼動時間などをメンテナンスカウンター情報として自動的にプリンターのメモリーに記録する機能です。カウンター情報を参考にし、定期点検や部品交換などに活用することができます。

参考

ヘッド走行距離、オートカッター動作回数は、セルフテスト（[44 ページ「セルフテストモード」](#) 参照）で確認することができます。

スマートデバイスのための便利な機能

ステータスシートに印刷された QR コードを使うことにより、簡単に本製品をネットワークに接続できます。

QR コード

ステータスシートに印刷された QR コードを、スマートデバイスのカメラで読み取ることで、プリンター情報（デバイスを特定するための情報）を取得できます。

取得した情報で対象プリンターを特定し、ネットワークに接続します。

参考

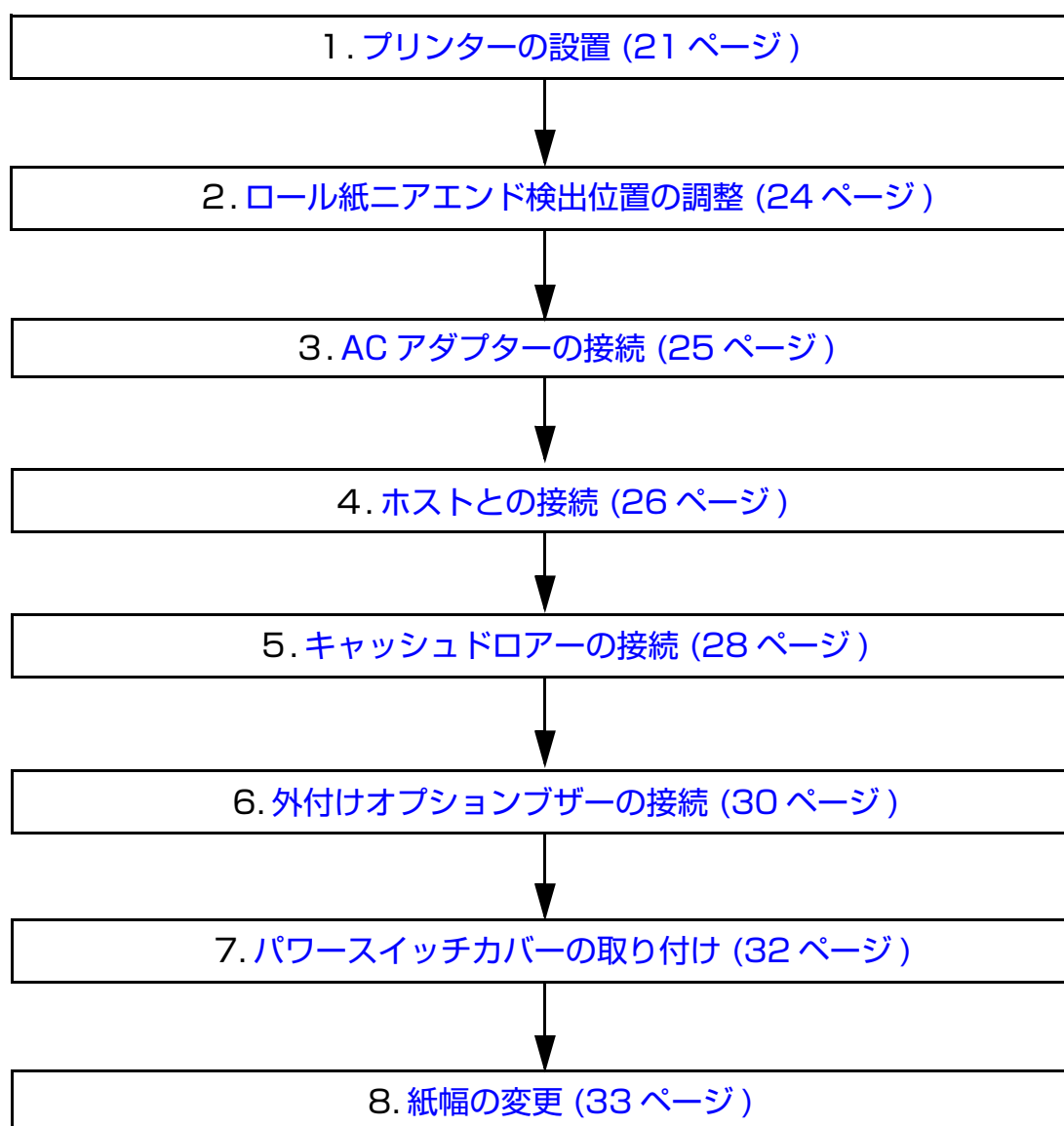
- 本機能を使用するためには Epson ePOS SDK を使ったプログラミングが必要です。QR コードスキャンの操作と、プリンター簡単選択 API を使った対象プリンターの特定を組み合わせることにより、本機能を実現できます。
詳細は「Epson ePOS SDK for Android/iOS ユーザーズマニュアル」および Epson ePOS SDK のサンプルプログラムを参照してください。サンプルプログラムには、QR コード読み取りの実装方法のサンプルも含まれています。
- Epson TM Utility for iOS/Android を使うと、本機能のデモンストレーションをお試しいただけます。

セットアップ

本章では、製品を使用する前に必要な、製品および周辺機器の設置・設定作業について説明しています。

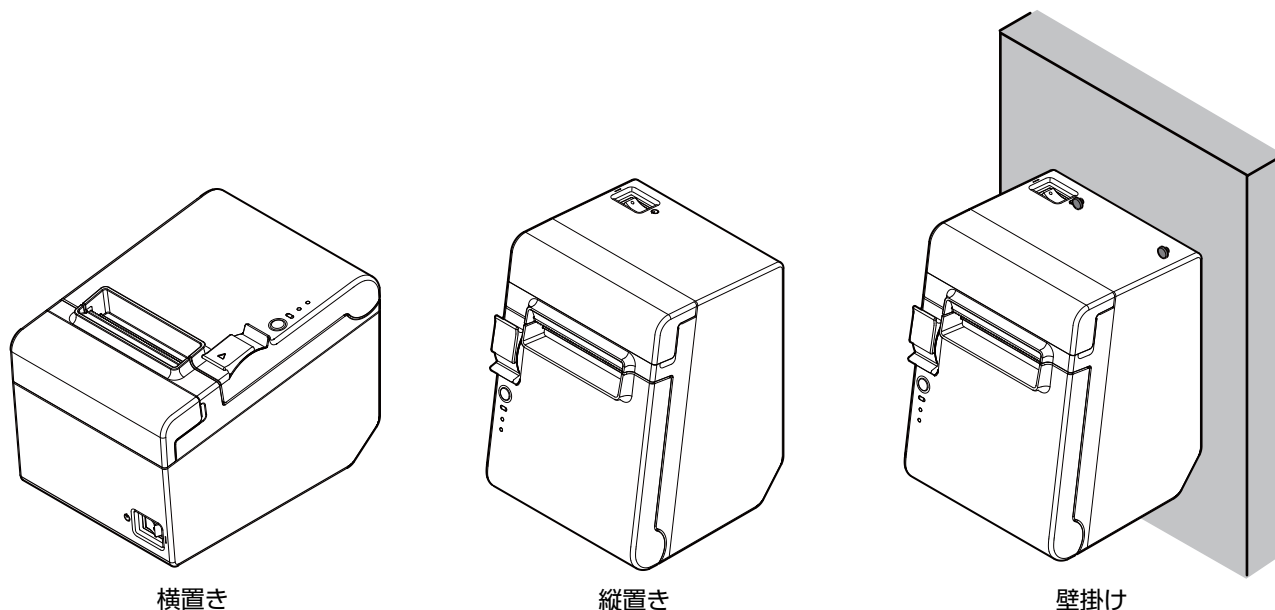
セットアップの流れ

本章は、本製品および周辺機器のセットアップの流れに沿って、次のような構成となっています。



プリンターの設置

本プリンターは、通常の横置き（紙出口が上面）のほか、縦置き（紙出口が前面）することができます。また、付属の壁掛け金具を併用すると、壁に掛けて設置することもできます。

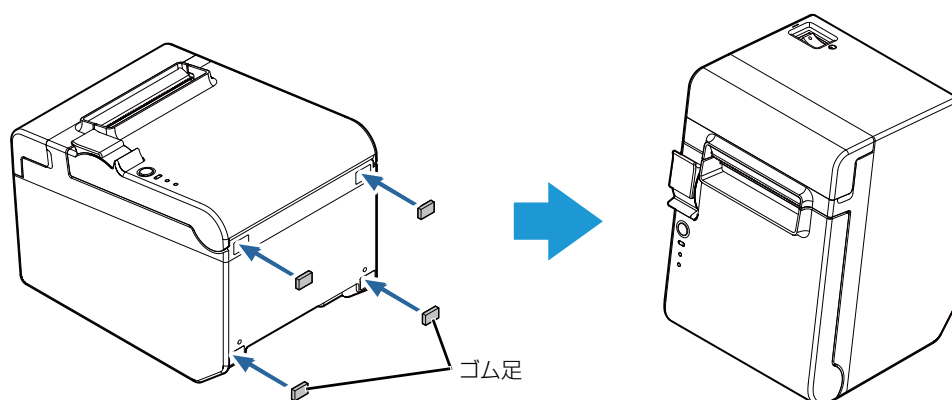


注意

- ホコリや塵の多い場所には設置しないでください。
- 操作時に強い衝撃を本製品に与えないでください。印刷不良を起こす可能性があります。
- 本製品の底面に、コードや異物などを挟み込まないようにしてください。
- 用紙カットやドロアー使用時の振動でプリンターが移動しないように対策を講じてください。プリンター固定用テープ（型番：DF-10）がオプションで用意されています。

縦置きの場合

プリンターを縦置きで使用する場合は、付属の4つのゴム足をプリンター底面の長方形のくぼみに貼り付けます。



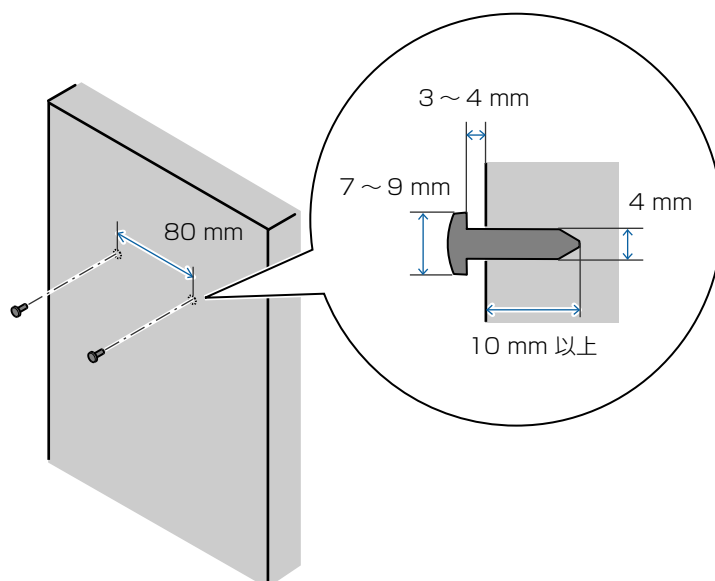
壁掛け設置の場合

プリンターを壁に掛けて使用する場合は、次の手順に従ってください。

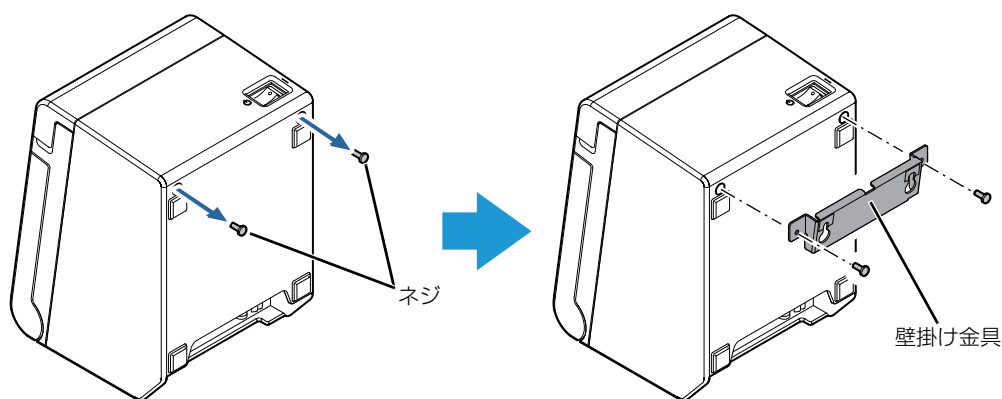
注意

- プリンターを確実に固定するため、木、コンクリート、または金属の壁に取り付けてください。取り付ける壁の厚さは 10 mm 以上を推奨します。
- 壁に取り付けるネジは、金属製のものを使用してください。
- 壁に取り付けるネジは、150N (15.3kgf) 以上の引き抜き強度が必要です。

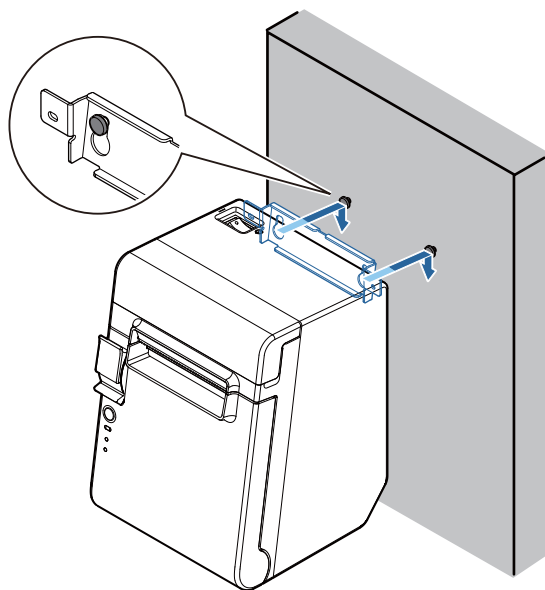
- 1 壁に 2 本のネジ（ネジ部径 4 mm、頭部径 7～9 mm）を 80 mm 間隔で取り付けます。壁に入っている部分のネジの長さが 10 mm 以上、壁から出ている部分のネジの長さが 3～4 mm になるようにネジを打ちつけてください。



- 2 プリンターに付いている 2 本のネジを取り外し、取り外したネジで壁掛け金具を取り付けます。



3 壁掛け金具の穴を、壁に取り付けたネジに合わせ、しっかりと引っ掛けます。



ロール紙ニアエンド検出位置の調整

次の場合は、ロール紙ニアエンド検出器位置の調整を行う必要があります。

- 使用するロール紙の芯の太さに応じて検出位置を調整する場合
- ロール紙の残量検出位置を調整する場合

注意

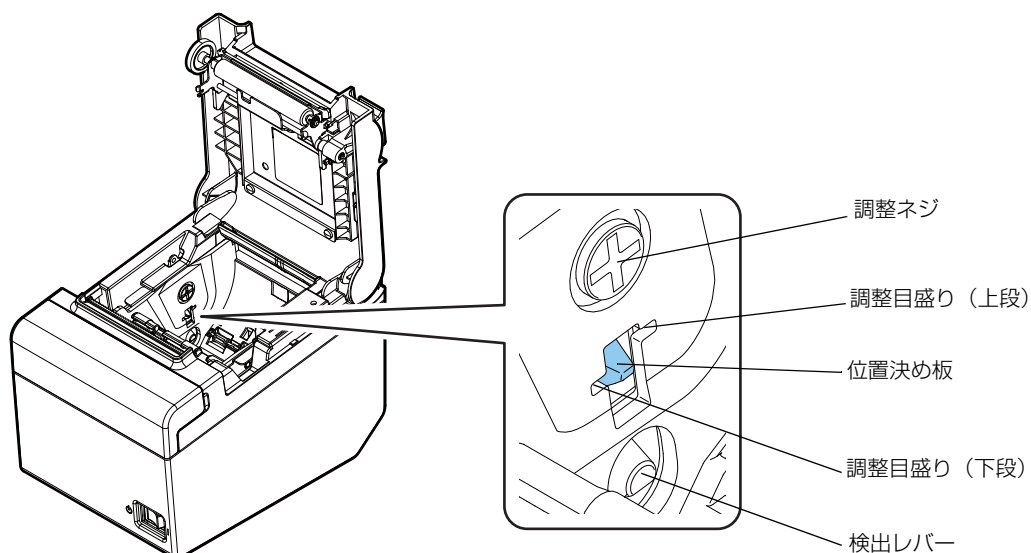
- 本製品を横置きで使用する場合のみ、ロール紙のニアエンド検出機能を使用できます。
- 本製品を縦置きや壁にかけて使用する場合は、必ずニアエンドセンサーを無効にしてください。そうしないと、誤検出が発生することがあります。
- ロール紙の中心部は、それぞれのロール紙仕様により形状が若干異なるため、厳密にニアエンドを検出することはできません。
- ロール紙残量検出器で正しく紙の残量を検出するため、ロール紙は巻き芯の内径が 12 mm、外径が 18 mm の指定のものを使用してください。

ロール紙ニアエンド検出器位置の調整手順は、以下のとおりです。

- 1 ロール紙カバーを開け、ロール紙を取り出します。
- 2 検出器を止めている調整ネジをゆるめ、調整目盛り段に位置決め板の上端を合わせます。

調整目盛り段	ロール紙残量（外径）
上段	約 27 mm
下段（初期設定）	約 23 mm

- 3 調整ネジを締め付けます。
- 4 調整後、検出レバーがスムーズに動作することを確認します。



- 5 メモリスイッチの用紙ニアエンドセンサーを「有効」にします。
メモリスイッチの詳細は、[34 ページ「ソフトウェア設定」](#)を参照してください。

AC アダプターの接続



警告

- 必ず指定の AC アダプター (AC adapter, C1) を使用してください。火災・感電のおそれがあります。
- AC アダプターの入力電圧とコンセントの電圧が適合しない場合は、AC ケーブルをコンセントに接続しないでください。プリンターが破損することがあります。
- 異常が確認されたときは、すぐにプリンターの電源を切り、AC ケーブルをコンセントから外してください。

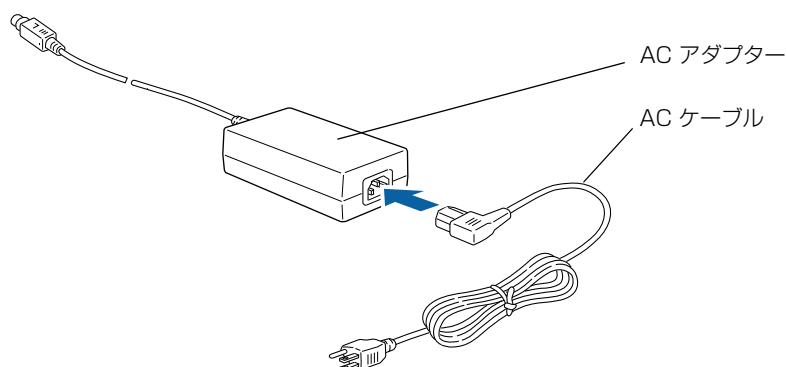
注意

AC ケーブルは、本製品に付属されているものを使用してください。

接続手順

1 プリンターの電源が切れていることを確認します。

2 AC ケーブルを AC アダプターに接続します。



3 AC アダプターの DC ケーブルを電源コネクタ (「24V」と刻印) に差し込みます。

ホストとの接続

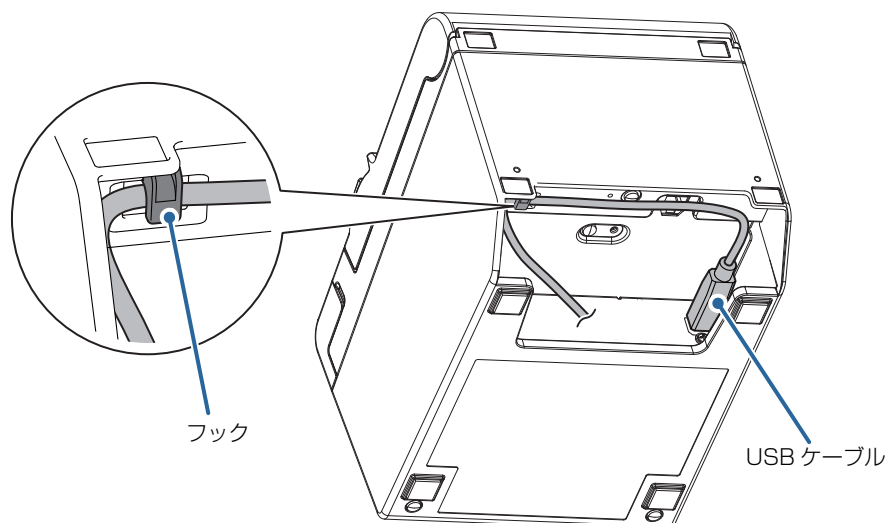
注意

- ドライバーのインストールは、必ずプリンターをホストコンピューターに接続する前に行ってください。
- 本製品は、キャッシュドロアー専用コネクタとして、モジュラータイプコネクタを使用しています。このコネクタには絶対に一般公衆回線などのコネクタを接続しないでください。

USB インターフェイス

USB ケーブルを介してホストデバイスと接続する場合は、USB ケーブルをプリンターに接続し、ホストデバイスを起動してから、プリンターの電源を入れてください。

USB ケーブルを本製品に接続する際は、ケーブル抜け防止のために、インターフェイスケーブルをフックで固定してください。

**注意**

USB ケーブル接続時は、ケーブルに負荷がかからないように使用してください。ケーブルやコネクタが破損する可能性があります。

有線 LAN インターフェイス

LAN ケーブルを使用して、本プリンターをハブ経由でネットワークに接続します。

ネットワークの設定は、TM-T20III Utility または EpsonNet Config で行います。

TM-T20III Utility の使い方は、TM-T20III Utility ユーザーズマニュアルを参照してください。

EpsonNet Config の使い方は、EpsonNet Config 操作ガイドを参照してください。

注意

- 屋外に架空配線された LAN ケーブルは、必ず他のサージ対策の施された機器を経由してから接続してください。
誘導雷によって機器が故障するおそれがあります。
- LAN コネクターには、決してカスタマーディスプレイケーブル、ドロアーキックケーブルおよび一般公衆回線を差し込まないでください。

参考

従来機種同様に EpsonNet Config (Web バージョン) も使用できます。
ユーザー名 / パスワード : epson

Bluetooth インターフェイスの場合

Bluetooth の接続方法については、iOS 対応 **Bluetooth®** TM プリンター 詳細取扱説明書 Rev.I 以降を参照してください。

キャッシュドロアーの接続

注意

- 外付けオプションプザーとキャッシュドロアーを同時に使用することはできません。分岐コネクタなどを使用して両方を同時に接続しないでください。
- オプションプザーの有効 / 無効設定が「有効」に設定されていると、キャッシュドロアーを使用することはできません。キャッシュドロアーを使用するときは、TM-T20III Utility を使用して、必ず「無効」に設定してください。
- 2 ドライブを同時に駆動することはできません。
- ドロアー駆動パルスを連続して送る場合は、ドロアー駆動パルスの 4 倍以上の時間間隔をあげてください。

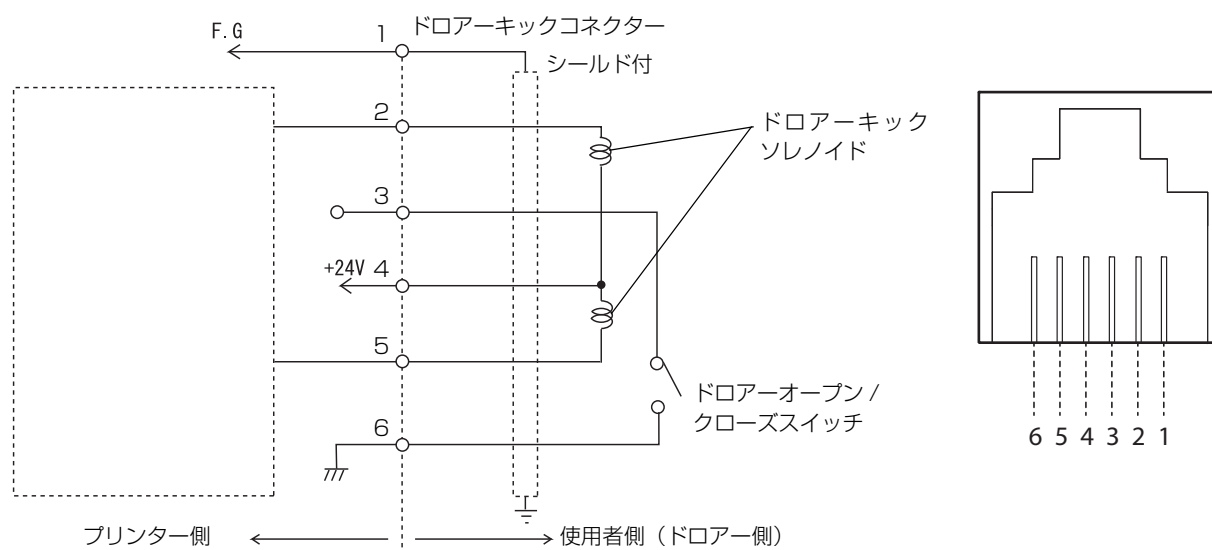
キャッシュドロアーの要求仕様

ドロアーの仕様は、製造メーカーやモデルによって大きく異なります。本プリンターに指定外のドロアーを接続する場合、ドロアーの仕様が以下の条件を満たすことを確認してください。

以下の条件を満たさない場合は、機器が破損するおそれがあります。

- ドロアーキックコネクタ4-2ピン間もしくは4-5ピン間にドロアーキックソレノイドなどの負荷があること
- ドロアーオープン / クローズ信号を使用する場合は、ドロアーキックコネクタ3-6 ピン間にスイッチがあること
- ドロアーキックソレノイドなどの負荷の抵抗値が 24Ω 以上、または入力電流が 1A 以下であること
- ドロアーの電源は、ドロアーキックコネクタ 4 ピンの 24V 出力以外は使用しないこと

ドロアーキックコネクタ接続図



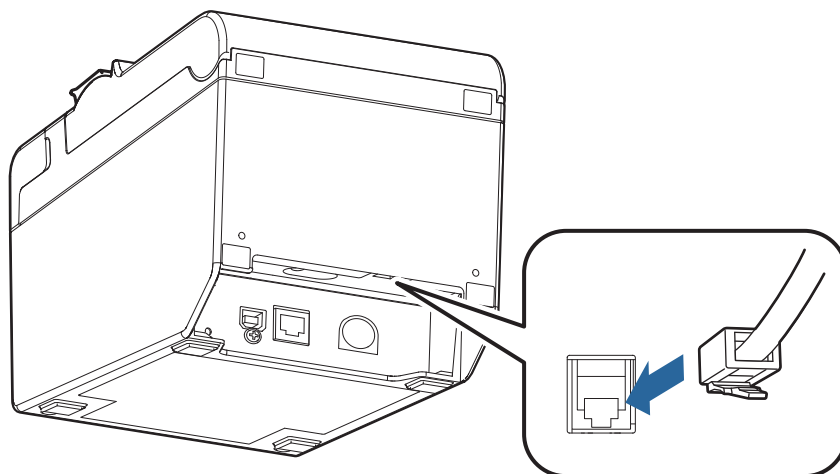
ドロアーキックケーブルの接続方法



警告

- ドロアーキックケーブルは、シールドタイプのケーブルを使用してください。
- ドロアーの電源は、必ずプリンターの電源（コネクターピン 4）を使用してください。
- ドロアーキックコネクターに、一般公衆回線などのコネクターを差し込まないでください。一般公衆回線またはプリンターを破損するおそれがあります。

ドロアーキックケーブルをプリンターのドロアーキックコネクターにカチッという音がするまで押し込みます。



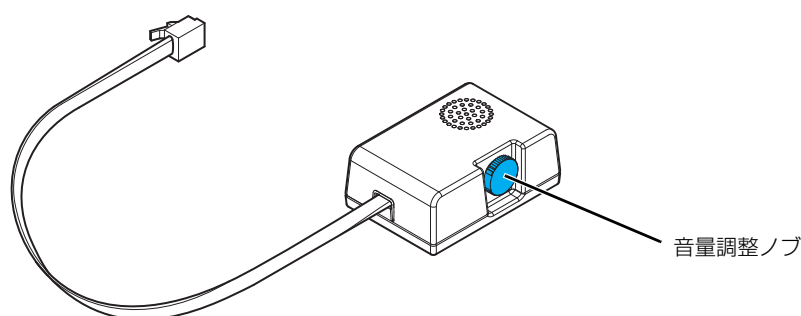
外付けオプションブザーの接続

外付けオプションブザー（型番：OT-BZ20）をプリンターのドロアーキックコネクタに接続すると、コマンドによって、あるいはエラーが起きたときや用紙の自動カット時など、プリンターが特定の動作をした時にブザーが鳴るように設定することができます。また、ブザーを鳴らす場面に応じて、ブザー音のパターンや回数を異なる設定にすることができます。

ブザーの有効 / 無効設定およびブザー音のパターン、回数などの設定は、TM-T20III Utility で行います。

注意

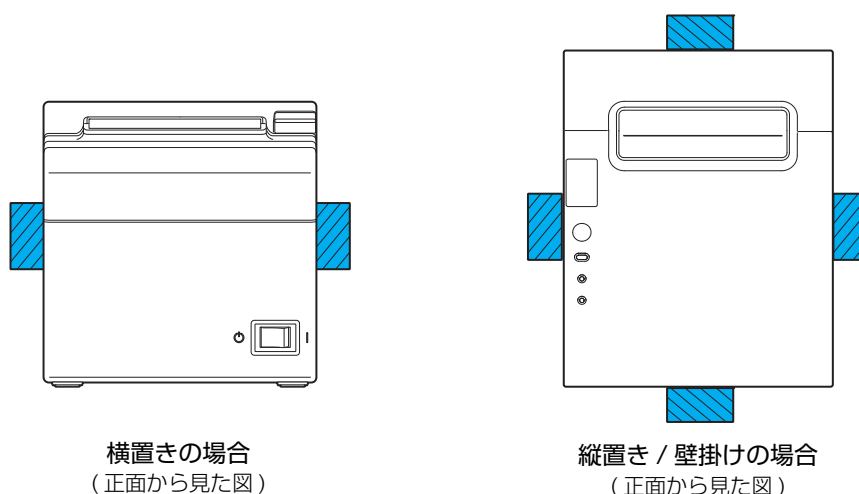
- 外付けオプションブザーの接続 / 取り外しは、必ずプリンターの電源を切ってから行ってください。
- 外付けオプションブザーとキャッシュドロアーを同時に使用することはできません。分岐コネクタなどを使用して両方を同時にプリンターに接続しないでください。



接続方法

外付けオプションブザーは、以下の位置に取り付けることを推奨します。

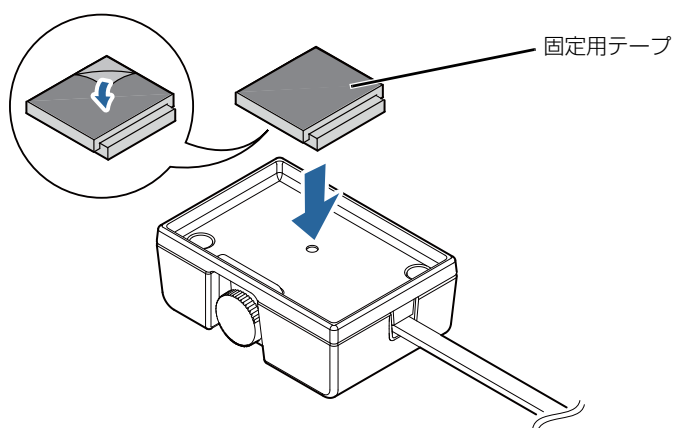
- プリンターを横置きで使用する場合：両側面
- プリンターを縦置き / 壁掛け設置で使用する場合：両側面、上面、下面（壁掛け設置時のみ）



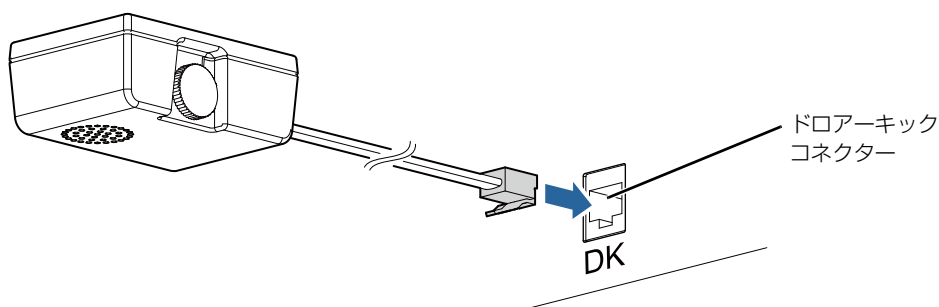
注意

- ロール紙が排出される面には取り付けないでください。
- 液体などが内部に入るのを防ぐため、外付けオプションブザーの音量調整ノブが横向き、または下向きになるように取り付けてください。

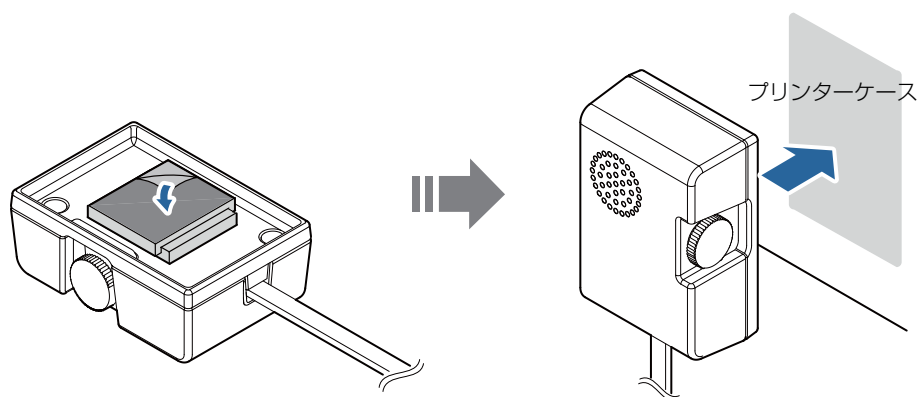
- 1 プリンターの電源を切ります。
- 2 ブザーユニットを取り付ける部分のプリンターケースをきれいに拭き、完全に乾かします。
- 3 ブザーユニットに同梱されている固定用テープが2枚重なった状態のまま、片面のシールをはがし、ブザーユニット取り付け面のほぼ中央の位置に貼り付けます。



- 4 ブザーユニットのケーブルを、プリンターのドロアーキックコネクタに接続します。



- 5 固定用テープの反対側のシールをはがし、ブザーユニットをプリンターケースに取り付けて固定します。



パワースイッチカバーの取り付け

パワースイッチを誤って押してしまうことを防ぐために、付属のパワースイッチカバーを取り付けることができます。パワースイッチカバーの穴にピンセットのような先の細いものを差し込むことによって、電源を入れたり切ったりできます。

取り外しの際は、先の細いものを使って取り外します。

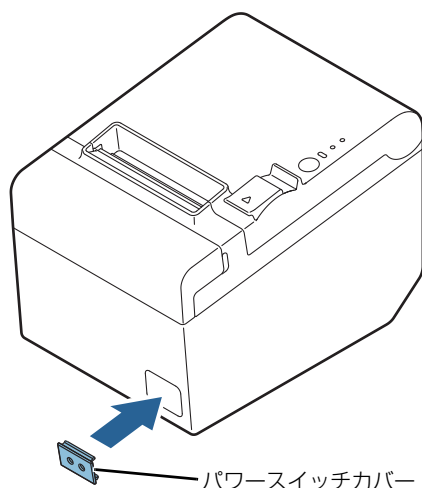
また、付属のパワースイッチソフトカバーも使用できます。

**警告**

パワースイッチカバーを装着した状態で異常が発生したときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電のおそれがあります。

**注意**

プリンターを湿度の高い場所や水がかかる場所で使用する場合は、パワースイッチソフトカバーを使用してください。漏電すると、感電のおそれがあります。



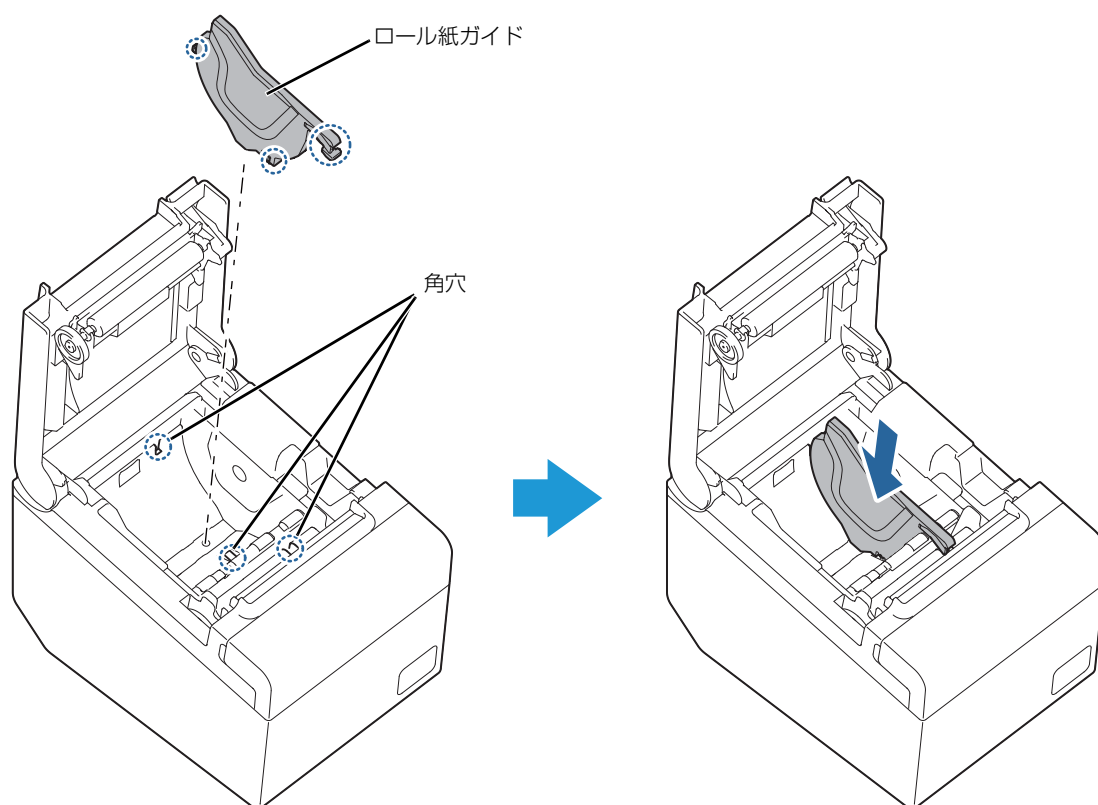
紙幅の変更

付属の 58 mm 紙幅用ロール紙ガイドを取り付けると、使用するロール紙の紙幅を 80 mm から 58 mm に変更することができます。紙幅を変更する場合は、以下の手順に従ってください。

注意

プリントヘッドの一部が直接ブラテンに接触することで摩耗している可能性があるため、紙幅を 58 mm に変更して使用した後は、80 mm に戻して使用することはできません。

- 1 ロール紙カバーを開けます。
- 2 ロール紙ガイドの 3 箇所の突起をプリンターの角穴に合わせ、押し込みます。



- 3 メモリスイッチで紙幅の設定を行います。
メモリスイッチの詳細は、[34 ページ「ソフトウェア設定」](#)を参照してください。

高度な活用法

ソフトウェア設定

本プリンターには、ソフトウェアの設定機能としてメモリースイッチおよびカスタマイズバリューがあり、プリンターのさまざまな設定が行えます。各機能の概要は、次項を参照してください。設定は、TM-T20III Utility およびソフトウェア設定モードで行えます。

参考

- TM-T20III Utility の使い方は、TM-T20III Utility ユーザーズマニュアルを参照してください。
- メモリースイッチ設定モードについては、[46 ページ「ソフトウェア設定モード」](#)を参照してください。

設定項目 / 設定方法		ソフトウェア設定モード	TM-T20III Utility
メモリースイッチ	自動改行	✓	✓
	USB 省電力機能の設定	✓	✓
	紙なし信号出力に有効な紙なし検出器の選択	✓	✓
	エラー信号の設定	✓	✓
	受信バッファ BUSY の解除条件	✓	✓
	受信バッファ容量	✓	✓
	BUSY となる条件	✓	✓
	用紙ニアエンドセンサーの設定	✓	✓
カスタマイズバリュー	印字濃度	✓	✓
	印字速度	✓	✓
	電源容量	✓	✓
	用紙幅と印字桁数設定	✓	✓
	自動用紙節約	✓	✓
	文字コードテーブル	✓	✓
	国際文字	✓	✓
	フォント A の自動置き換え	✓	
	フォント B の自動置き換え	✓	
	カバークローズ時の用紙自動カット	✓	✓
	オプションブザー	✓	✓
	グラフィックスデータ縮小・拡大		✓
	USB クラス	✓	✓
	インターフェイス選択	✓	✓

設定項目 / 設定方法	ソフトウェア設定モード	TM-T20III Utility
オートカッターエラー解除方法の選択		✓
自動トップロゴ		✓
自動ボトムロゴ		✓
自動トップ / ボトムロゴの拡張設定		✓

機能

自動改行

- 常時無効（初期設定）
- 常時有効

USB 省電力機能の設定

- 無効
- 有効（初期設定）

参考

USB 省電力機能は、USB インターフェイスの通信条件がベンダー定義クラスで、かつ、USB ドライバーが USB の省電力機能をサポートできるシステム構成の場合のみ有効です。

紙無し信号出力に有効な紙無し検出器の選択

- ロール紙エンド検出器、ロール紙ニアエンド検出器とも有効（初期設定）
- どちらも無効

エラー信号の設定

- 有効（初期設定）
- 無効

受信バッファーBUSY の解除条件

- 残 256 バイトで BUSY 解除（初期設定）
- 残 138 バイトで BUSY 解除

受信バッファー容量

- 4KB（初期設定）
- 45 バイト

BUSY となる条件

- 受信バッファフル / オフライン（初期設定）
- 受信バッファフル

注意

- 設定によらず、電源投入時およびセルフテスト実行時は常に BUSY 状態となります。
- 「受信バッファフル」に設定した場合、以下のときは BUSY 状態となりません。
 - * ロール紙カバーオープン時
 - * FEED（紙送り）ボタンで紙送りをした時
 - * 用紙なしのため印刷が中止した時
 - * マクロ実行待ちの時
 - * エラーが起きた時

用紙ニアエンドセンサーの設定

- 無効（初期設定）
- 有効

印字濃度

レベル 1 ～ 7（薄い～濃い）から選択可能

初期設定：レベル 4

良好な印刷品質を確保するため、使用する用紙に合わせて下表のように印字濃度を設定することをお勧めします。

原紙型番	濃度
TF50KS-EY TF60KS-E PD150R PD160R PD190R P220AGB-1	レベル 4

参考

印字濃度を高く設定するほど、印字速度は低下しやすくなります。

印字速度

レベル 1 ～ 13（遅い～速い）から選択可能

初期設定：レベル 13

参考

印字デューティー、サーマルヘッド温度、データ転送速度などの印刷条件によっては、印字速度が自動調整され、間欠印刷（印刷途中でモーターが時々停止する）による白スジが印刷されることがあります。これを防ぐには、印字速度の設定を低速にしてください。

電源容量

電源容量レベル 1 ～ 3 の 3 段階から選択可能

初期設定：レベル 3

用紙幅と印字桁数設定

注意

- 紙幅を 58 mm に変更する場合は、必ず付属の 58 mm 紙幅用仕切り板を取り付けてください。(33 ページ「紙幅の変更」参照)
- プリントヘッドの一部が直接プラテンに接触することで摩耗している可能性があるため、紙幅を 58 mm に変更して使用した後は、80 mm に戻して使用することはできません。

- 紙幅 80mm / 桁数 48 桁 (初期設定)
- 紙幅 80mm / 桁数 42 桁
- 紙幅 58mm / 桁数 35 桁
- 紙幅 58mm / 桁数 42 桁

自動用紙節約

- 削減しない (初期設定)
- おすすめ設定
- 最大限の節約設定

「おすすめ設定」、「最大限の節約設定」の詳細は下記の表を参考にしてください。

	おすすめ設定	最大限の節約設定
用紙の上余白	削減する	削減する
用紙の下余白	削減する	削減する
行間の削減量	75 % 削減する	75 % 削減する
改行の削減量	75 % 削減する	75 % 削減する
バーコード高さの削減量	75 % 削減する	75 % 削減する
文字内余白の削減量	削減しない	75 % 削減する

注意

- グラフィックデータ印刷中に発生する空白行に対しては、用紙節約は行われません。
- バーコード高さを削減する場合、バーコードの読み取り結果について当社は保証しません。事前にお客様にて、使用するバーコードリーダーでの読み取り確認を行ってください。

文字コードテーブル

43 のコードページとユーザー定義ページから指定可能

初期設定：PC437: USA, Standard Europe

国際文字

18 セットから指定可能

初期設定：アメリカ

フォント A の自動置き換え

- 置き換えなし（初期設定）
- フォント B

フォント B の自動置き換え

- 置き換えなし（初期設定）
- フォント A

カバークローズ時の用紙自動カット

- カットする（初期設定）
- カットしない

オプションブザー

参考

- 外付けオプションブザーの接続方法は、[30 ページ「外付けオプションブザーの接続」](#)を参照してください。
- オプションブザーの有効 / 無効設定が「有効」に設定されていると、キャッシュドロアーを使用することはできません。キャッシュドロアーを使用するときは、必ず「無効」に設定してください。

有効 / 無効設定

- 無効（初期設定）
- 有効

エラー時鳴動パターン

エラー時鳴動パターン、またはパターン A ～ E から選択

初期設定：エラー時鳴動パターン

エラー時鳴動回数

- 鳴らさない
- 1 回のみ
- 鳴り続ける（初期設定）

オートカットコマンド鳴動パターン

パターン A ～ E から選択

初期設定：パターン A

オートカットコマンド鳴動回数

- 鳴らさない
- 1 回のみ鳴らす（初期設定）

紙なし時鳴動パターン

紙なし時鳴動パターン、またはパターン A ～ E から選択

初期設定：紙なし時鳴動パターン

指定パルス発生コマンド 1 鳴動パターン

パターン A ～ E から選択

初期設定：パターン A

指定パルス発生コマンド 1 鳴動回数

- 鳴らさない
- 1 回のみ鳴らす（初期設定）

指定パルス発生コマンド 2 鳴動パターン

パターン A ～ E から選択

初期設定：パターン B

指定パルス発生コマンド 2 鳴動回数

- 鳴らさない
- 1 回のみ鳴らす（初期設定）

グラフィックスデータ縮小・拡大

リサイズ方法

- リサイズなし（初期設定）
- 自動縮小
- 手動調整

アルゴリズム

- 間引き法
- ニアレストネイバー法（初期設定）
- バイリニア法
- バイキュービック法

手動調整時の倍率指定

50% ～ 200%

USB クラス

- ベンダー定義クラス
- プリンタークラス（初期設定）

インターフェイス選択

参考

モデルによって選択可能な設定は異なります。

- UIB 固定（データ通信に利用するインターフェイスを *Bluetooth* に固定します）
- Built-in USB 固定
- UIB / Built-in USB（データ通信に利用するインターフェイスを、プリンターにつながっているインターフェイスに固定します）
- Ethernet 固定
- 自動選択 *

*：Bluetooth インターフェイスモデル、Ethernet/USB インターフェイスモデルの初期設定。

自動トップロゴ

参考

TM-T20III Utility では、トップロゴ印刷以降の削除行数の設定は行えません。

キーコード

登録済みロゴのキーコードから選択

位置揃え

- 左揃え
- 中央揃え
- 右揃え

トップロゴ印刷以降の削除行数

自動ボトムロゴ

キーコード

登録済みロゴのキーコードから選択

位置揃え

- 左揃え
- 中央揃え
- 右揃え

自動トップロゴ、自動ボトムロゴの拡張設定

参考

TM-T20III Utility では、下記項目の設定は行えません。

- カット位置までの紙送り時のトップロゴ印刷
- 復帰可能エラー中のバッファークリア復帰時のトップロゴ印刷
- 紙送りスイッチによる紙送り終了時のトップロゴ印刷

カット位置までの紙送り時のトップロゴ印刷

- 無効（初期設定）
- 有効

電源投入時のトップロゴ印刷

- 無効（初期設定）
- 有効

カバークローズ時のトップロゴ印刷

- 無効
- 有効（初期設定）

復帰可能エラー中のバッファークリア復帰時のトップロゴ印刷

- 無効
- 有効（初期設定）

紙送りスイッチによる紙送り終了時のトップロゴ印刷

- 無効（初期設定）
- 有効

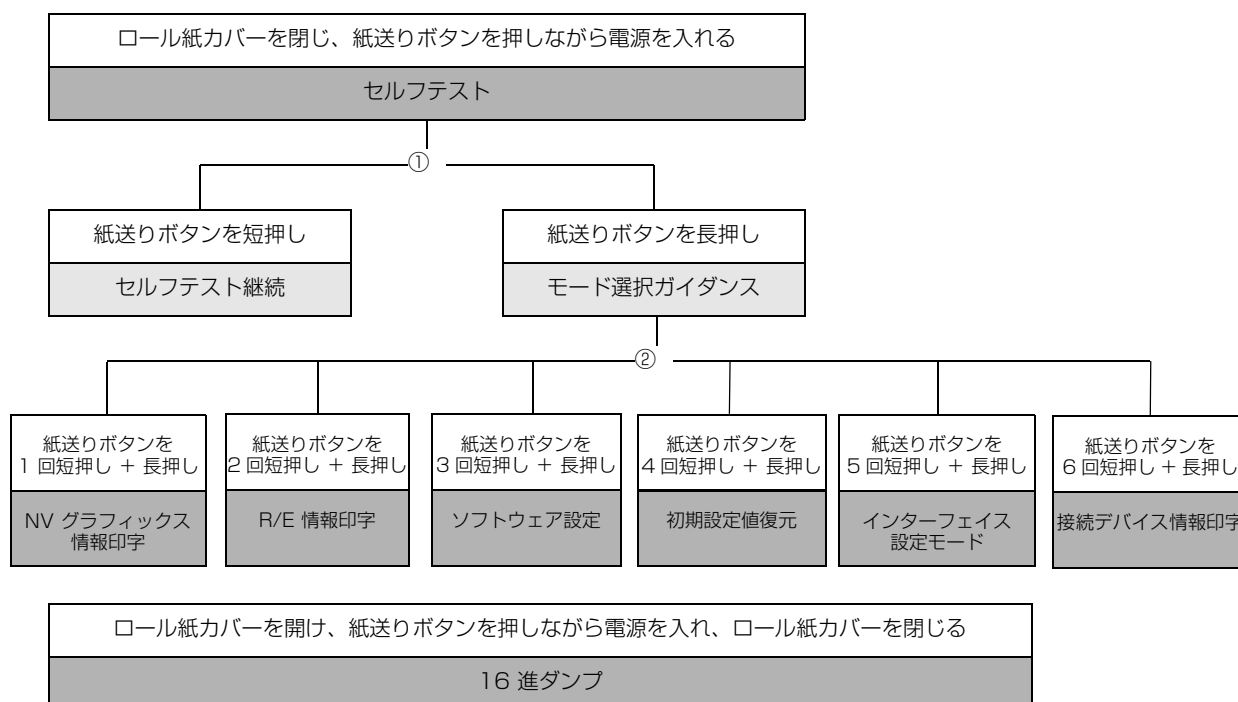
設定 / 確認モード

プリンターの各種設定を設定・確認するために、通常印刷モードの他に以下のモードが用意されています。

- セルフテストモード
- NV グラフィックス情報印字モード
- R/E（レシートエンハンスメント）情報印字モード
- ソフトウェア設定モード
- 初期設定値復元モード
- インターフェイス設定モード（Ethernet モデルのみ）
- 接続デバイス情報印字モード
- 16 進ダンプモード

セルフテストモードまたは 16 進ダンプモードにするには、以下にあるように特殊なやり方でプリンターの電源を入れます。

その他のモードにするには、以下にあるようにセルフテストモードにしてから紙送りボタンを操作して選択します。



①、②では以下のガイダンスが印字され、ペーパー LED が点滅してユーザー操作を促します。

① セルフテスト継続ガイダンス

Select Modes by pressing Feed Button.
Continue SELF-TEST: Less than 1 second
Mode Selection : 1 second or more

② モード選択ガイダンス

Mode Selection

Modes

- 0: Exit and Reboot Printer
- 1: NV Graphics Information
- 2: Receipt Enhancement Information
- 3: Customize Value Settings
- 4: Restore Default Values
- 5: Interface Setup
- 6: Peripheral Device Information
- 7 or more: None

Select Modes by executing following procedure.

- step 1. Press the Feed button less than 1 second as many times as the selected mode number.
- step 2. Press Feed button for 1 second or more.

セルフテストモード

セルフテストを行うことにより、次の項目を確認できます。

- 製品の名称
- ファームウェアバージョン
- 製品のシリアル番号
- インターフェイスの情報
- 搭載文字フォント
- メンテナンスカウンタ情報（サーマルヘッド走行距離、オートカッター動作回数）

以下の手順で実行してください。

- 1** **ロール紙カバーを閉じます。**
- 2** **紙送りボタンを押しながら電源を入れます。（印字が開始するまで紙送りボタンを押し続けてください。）**
プリンターの状態印字に続いて、セルフテスト継続ガイダンスが印字され、ペーパーLED が点滅します。
- 3** **紙送りボタンを短押し（1 秒未満）して、セルフテストを継続します。**
搭載文字がローリング印字されます。
「*** completed ***」と印字した後、プリンターは初期化され通常モードに移行します。

NV グラフィックス情報印字モード

プリンターに登録されている以下の NV グラフィックス情報を印字します。

- NV グラフィックス容量
- NV グラフィックス使用容量
- NV グラフィックス空き容量
- NV グラフィックス登録数
- 各データのキーコード、X 方向ドット数、Y 方向ドット数
- NV グラフィックスデータ

参考

NV グラフィックスの詳細は、[17 ページ「NV グラフィックスメモリー」](#)を参照してください。

以下の手順で実行してください。

- 1** セルフテストを実行後、紙送りボタンを長押し（1 秒以上）して、モード選択を選びます。
モード選択ガイダンスが印字され、ペーパー LED が点滅します。
- 2** 紙送りボタンを 1 回短押し（1 秒未満）した後、長押し（1 秒以上）して、NV グラフィックス情報を印字します。
NV グラフィックス情報印字の後、モード選択ガイダンスが再度印字されます。
- 3** 終了するには、電源を切るか、“Exit and Reboot Printer”を選択します。

R/E(レシートエンハンスメント)情報印字モード

プリンターに登録されている以下のレシートエンハンスメント情報を印字します。

- 自動トップロゴ設定
- 自動ボトムロゴ設定
- 自動トップロゴ / 自動ボトムロゴ拡張設定

以下の手順で実行してください。

- 1** セルフテストを実行後、紙送りボタンを長押し（1 秒以上）して、モード選択を選びます。
モード選択ガイダンスが印字され、ペーパー LED が点滅します。
- 2** 紙送りボタンを 2 回短押し（1 秒未満）した後、長押し（1 秒以上）して、レシートエンハンスメント情報を印字します。
情報印字の後、モード選択ガイダンスが再度印字されます。
- 3** 終了するには、電源を切るか、“Exit and Reboot Printer” を選択します。

ソフトウェア設定モード

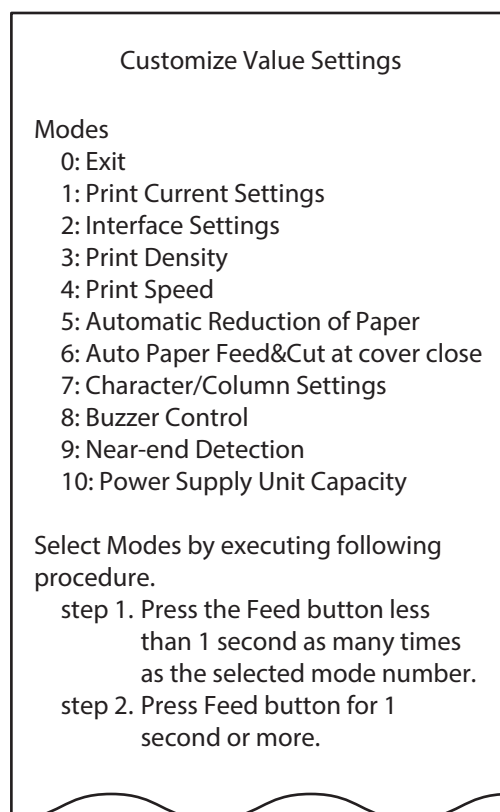
プリンターの各種設定が行えます。設定項目については [34 ページ「ソフトウェア設定」](#) を参照してください。

以下の手順で実行してください。

- 1** セルフテストを実行後、紙送りボタンを長押し（1 秒以上）して、モード選択を選びます。
モード選択ガイダンスが印字され、ペーパー LED が点滅します。

2 紙送りボタンを3回短押し（1秒未満）した後、長押し（1秒以上）して、ソフトウェア設定モード（Customize Value Settings）を選択します。

ソフトウェア設定モードのガイダンスが印字され、ペーパーLEDが点滅します。



3 印字結果に示されている回数分、紙送りボタンを短押し（1秒未満）した後、長押し（1秒以上）して、設定項目を選択します。

選択された項目に対する設定値（選択肢）、現在の設定値、初期設定値が印字されます。

設定項目によっては、設定値印字の前に、さらに項目選択が続く場合があります。

設定項目の詳細については [34 ページ「ソフトウェア設定」](#) を参照してください。

注意

ソフトウェア設定モードの選択肢以外の値に設定されている場合、現在の設定値は印字されません。

4 設定値を紙送りボタンの短押し（1秒未満）の回数で選択し、長押し（1秒以上）で確定します。

設定が保存された後、ソフトウェア設定モードのガイダンスが印字され、ペーパーLEDが点滅します。

5 ソフトウェア設定モードを終了するには、電源を切るか、“Exit”を選択してモード選択ガイダンスに戻った後、“Exit and Reboot Printer”を選択します。

参考

- 項目番号の0を選択するためには、印字が開始されるまで紙送りボタンを押し続けます。
- 設定方法ガイダンスに表示されていない回数のボタンを押すと、操作は無効になり、同じガイダンスが印字されます。

初期設定値復元モード

NV メモリーに保存されている以下の設定値を出荷時設定に戻すモードです。トラブル時の原因切り分けに使うことができます。

設定項目	初期設定値復元	初期設定値復元と 定義データ削除
カスタマイズバリュー	✓	✓
メモリースイッチ	✓	✓
R/E(レシートエンハンスメント)設定	✓	✓
USB インターフェイスの通信設定	✓	✓
Network インターフェイスの通信設定	✓	✓
NV グラフィックス	—	✓
NV ビットイメージ	—	✓
ユーザー定義ページ	—	✓
ユーザ NV メモリ	—	✓

以下の手順で実行してください。

- 1 セルフテストを実行後、紙送りボタンを長押し（1 秒以上）して、モード選択を選びます。
モード選択ガイダンスが印字され、ペーパー LED が点滅します。
- 2 紙送りボタンを 4 回短押し（1 秒未満）した後、長押し（1 秒以上）して、初期設定値復元モードを選択します。
ガイダンスが印字されます。
- 3 初期設定値のみを復元する場合：
紙送りボタンを 1 回短押し（1 秒未満）した後、長押し（1 秒以上）します。（復元完了のメッセージが印字されるまで紙送りボタンを押し続けてください。）

初期設定値の復元とユーザー定義データの削除を行う場合：
紙送りボタンを 2 回短押し（1 秒未満）した後、長押し（1 秒以上）します。（復元完了のメッセージが印字されるまで紙送りボタンを押し続けてください。）
- 4 終了するには、電源を切ってください。

インターフェイス設定モード

インターフェイスの設定などを行うモードです。

以下の手順で実行してください。

- 1** セルフテストを実行後、紙送りボタンを長押し（1 秒以上）して、モード選択を選びます。
モード選択ガイダンスが印字され、ペーパー LED が点滅します。
- 2** 紙送りボタンを 5 回短押し（1 秒未満）した後、長押し（1 秒以上）して、インターフェイス設定モードを選択します。
ガイダンスが印字されます。
- 3** 印字結果に示されている回数分、紙送りボタンを短押し（1 秒未満）した後、長押し（1 秒以上）して、設定項目を選択します。

初期化

[Wi-Fi & Ethernet Setup] で [Initialize] を選択すると、ネットワーク設定パラメーターを初期化します。プリンターがリセットされて再起動します。

接続デバイス情報印字モード

現在プリンターに接続されているデバイスの情報を印字する機能です。

以下の手順で実行してください。

- 1** セルフテストを実行後、紙送りボタンを長押し（1 秒以上）して、モード選択を選びます。
モード選択ガイダンスが印字され、ペーパー LED が点滅します。
- 2** 紙送りボタンを 6 回短押し（1 秒未満）した後、長押し（1 秒以上）して、接続デバイス情報を印字します。
情報印字の後、モード選択ガイダンスが再度印字されます。
- 3** 終了するには、電源を切るか、“Exit and Reboot Printer” を選択します。

16 進ダンプモード

16 進ダンプモードでは、ホストコンピューターからのデータを 16 進数と文字で印字します。この印字結果とプログラムを見比べることで、プリンターに正しくデータが送られているか確認することができます。

参考

- 印字データに該当する文字がない場合は、"." と印字されます。
- 印字データが 1 行に満たないときは、紙送りボタンを押すと、その行の印字が行われます。
- 16 進ダンプモード中は、プリンターステータスを確認するアプリケーションは正常に動作しない場合があります。プリンターは「ステータスのリアルタイム送信コマンド」に対するステータスのみ返します。

以下の手順で実行してください。

- 1 ロール紙カバーを開けます。
- 2 紙送りボタンを押しながら電源を入れます。(エラー LED が点灯するまで紙送りボタンを押し続けてください。)
- 3 ロール紙カバーを閉じます。
以降、プリンターが受信したデータはすべて 16 進数とそれに対応する ASCII 文字で印字されます。

16 進ダンプモードの印字例

```
Hexadecimal Dump
To terminate hexadecimal dump,
press FEED button three times.

1B 21 00 1B 26 02 40 40 1B 69 . ! . . & . @ @ . i
1B 25 01 1B 63 34 00 1B 30 31 . % . . c 4 . . 0 1
41 42 43 44 45 46 47 48 49 4A A B C D E F G H I J

*** completed ***
```

- 4 16 進ダンプモードを終了するには、印字停止後電源を切るか、紙送りボタンを 3 回押します。

ステータスシートの印刷

以下の操作で、インターフェイスの設定を確認できます。

参考

パワー LED が点滅している場合、点灯に変わってから印刷します。

ステータスシートボタンを使う方法

参考

- Ethernet インターフェイスに関する内容のみ印刷されます。
- ステータスシートボタンは、プリンター背面にあります。

- 1** プリンターの電源が入っていることを確認します。
ロール紙カバーが閉じていることを確認します。
- 2** ステータスシートボタンを長押しします。(3 秒以上)
ステータスシートの印刷が開始されます。印刷終了後、通常モードに戻ります。

紙送りボタンを使う方法

参考

Ethernet、*Bluetooth*® インターフェイスに関する内容が印刷されます。

- 1 プリンターの電源が入っていることを確認します。
- 2 ロール紙カバーを開けます。
- 3 紙送りボタンを長押しします。(1 秒以上)
- 4 ロール紙カバーを閉じます。
ステータスシートの印刷が開始されます。印刷終了後、通常モードに戻ります。

*** Wi-Fi & Ethernet Interface ***

Wi-Fi Status
 MAC Address : Unmounted
 SSID : AAA
 Network Mode : Infrastructure
 Comm Standard : 802.11b/g/n
 Encryption Type : None
 Link Status : Unknown
 Channel : Unknown
 Transmission : Unknown
 Access Point : Unknown
 Signal Level : Unknown

Ethernet Status
 MAC Address : XX-XX-XX-XX-XX-XX
 Physical Layer : Auto-negotiation
 Link Status : Connect

Ethernet
 WF : XXXXXXXXXXXX
 DN : TM-T20III



Network
 Soft Version : XX.XX

TCP/IP Status
 Acquiring : Auto
 IP Address : XXX.XXX.XXX.XX
 Subnet Mask : XXX.XXX.XXX.X
 Default Gateway : X.X.X.X

Other Status
 Time Server : Invalid
 Stored Date/Time : 20XX/XX/XX 00:00:00
 Wi-Fi Device ID : Unknown
 Wi-Fi Region ID : 0

*** Bluetooth Interface ***

Bluetooth Status
 BD_ADDR : XX:XX:XX:XX:XX:XX
 Passkey : XXXX
 Device Name: TM-T20III_XXXXXX
 Module Ver : X.XX
 Module Info : BT401-XXXXX
 Mode : Auto re-connect enable
 Security : Low

Bluetooth
 BT : XXXXXXXXXXXX
 DN : TM-T20III



インターフェイス設定の初期化

以下の操作で、インターフェイスの設定を初期化できます。

参考

- インターフェイス設定の初期化は、インターフェイス設定モードからも行えます。インターフェイス設定モードの詳細については [49 ページ「インターフェイス設定モード」](#) を参照してください。
- 初期化されるのはネットワーク設定のみです。
- ステータスシートボタンは、プリンター背面にあります。

- 1 プリンターの電源が切れ、ロール紙カバーが閉じていることを確認します。
- 2 ステータスシートボタンを押しながら、プリンターの電源を入れます。
初期化実行のメッセージが印字され、プリンターが再起動します。

注意

初期化実行のメッセージが印字されるまで、ステータスシートボタンを押し続けてください。

アプリケーション開発情報

本章では、本プリンターの制御方法、および本プリンターを使用したアプリケーションを開発する際に必要な情報について説明しています。

プリンターの制御方法

本プリンターは以下の制御コマンドを搭載しています。

- ePOS-Print XML（モデルにより、非搭載の場合があります。）
- ESC/POS

ユーザーは、上記コマンドまたは下記開発キット、ドライバーを利用してプリンターを制御できます。

- EPSON Advanced Printer Driver (APD)
- OPOS ADK
- OPOS ADK for .NET
- Epson ePOS SDK

ePOS-Print XML

ePOS-Print XML は、XML で定義した、エプソン独自の POS プリンター用制御コマンド体系です。http 通信ができる環境や OS のアプリケーションから印刷できます。ePOS-Print XML の詳細については、ePOS-Print XML ユーザーズマニュアルを参照してください。

ESC/POS

ESC/POS は、エプソン独自の POS プリンター、カスタマーディスプレイ用制御コマンド体系です。

プリンターのすべての機能を直接制御できますが、ドライバーや開発キットを使用するのに比べて、より詳細な知識が必要です。

ESC/POS の詳細については、ESC/POS コマンドリファレンスを参照してください。ESC/POS コマンドリファレンスは下記 URL からアクセスできます。

www.epson-biz.com/pos/reference_ja/

キャッシュドロアーの制御方法

ドロアーキックコネクタの2番ピンまたは5番ピンにパルス信号を出力して、ドロアーをオープンできます。

また、ドロアーキックコネクタの3番ピンの信号レベルを確認して、ドロアーの開閉状態を確認できます。これらの制御はドライバーまたはコマンドでおこないます。

ESC/POS コマンド

指定パルスの出力コマンドやステータス送信のコマンドが用意されています。

詳細は、ESC/POS コマンドリファレンスを参照してください。

Windows 用プリンタードライバー(APD)

印刷開始 / 終了時やページ開始 / 終了時にドロアーをオープンするように設定できます。詳細は、ドライバーのマニュアルを参照してください。

制御方法については、ドライバーの Status API のマニュアルを参照してください。

OPOS(OCX ドライバー)

SetupPOS ユーティリティでキャッシュドロアーを登録し、OpenDrawer メソッドまたは DirectIO 機能で制御します。

詳細は「EPSON OPOS ADK マニュアル アプリケーション開発ガイド CashDrawer」および OPOS 技術協議会発行の「OpenPOS for OLE Application Programmer's Guide 日本版仕様書」を参照してください。

OPOS for .NET

SetupPOS ユーティリティでキャッシュドロアーを登録し、OpenDrawer メソッドまたは DirectIO 機能で制御します。

詳細は「EPSON OPOS ADK for .NET マニュアル アプリケーション開発ガイド CashDrawer(EPSON Standard)」および OPOS 技術協議会発行の「OpenPOS for OLE Application Programmer's Guide 日本版仕様書」を参照してください。

Epson ePOS SDK

各 SDK のライブラリーに指定パルスの出力コマンドやステータス送信のコマンドが用意されています。詳細は各 SDK のユーザーズマニュアルを参照してください。

参考

- ドロアーキックコネクタ2番ピン、5番ピンのどちらで駆動するかは、接続するキャッシュドロアーによります。
- OPOS 技術協議会発行のドキュメントは以下から入手できます。
<https://www.microsoft.com/ja-jp/business/industry/#OPOS>

外付けオプションブザーの制御方法

外付けオプションブザーは、エラーのときに鳴ったり、オートカット時に鳴ったりするように設定できます。ドライバー、コマンドによりブザーを鳴らすこともできます。また、ブザー音のパターンや鳴動回数を設定したりすることもできます。

ESC/POS コマンド

ブザー制御コマンドまたは指定パルスの出力コマンドを使用します。詳細は、ESC/POS コマンドリファレンスを参照してください。

Windows 用プリンタードライバー(APD)

印刷開始 / 終了時やページ開始 / 終了時にブザーを鳴らすように設定できます。詳細はドライバーのマニュアルを参照してください。

API を利用する場合は DirectIO 機能またはドロアーオープン用 API を使用します。詳細はドライバーの Status API のマニュアルを参照してください。

OPOS(OCX ドライバー)

SetupPOS ユーティリティで POS プリンターを登録し、DirectIO 機能で制御します。詳細は「EPSON OPOS ADK マニュアル アプリケーション開発ガイド POSPrinter (TM シリーズ)」を参照してください。

OPOS for .NET

SetupPOS ユーティリティで POS プリンターを登録し、DirectIO 機能で制御します。詳細は「EPSON OPOS ADK for .NET マニュアル アプリケーション開発ガイド POSPrinter (TM-T20III)」を参照してください。

Epson ePOS SDK

各 SDK のライブラリーにブザー機能のコマンドが用意されています。詳細は各 SDK のユーザーズマニュアルを参照してください。

参考

外付けオプションブザーの設定方法については、[30 ページ「外付けオプションブザーの接続」](#)を参照してください。

ソフトウェア

アプリケーション開発用として、下記のソフトウェアが用意されています。

開発キット

名称	概要
EPSON OPOS ADK	OLE 技術* を用いて POS 用周辺機器を制御できる OCX ドライバーです。アプリケーション側からは POS 用周辺機器を独自のコマンドで制御する必要がなくなるため、効率的なシステム開発が実現できます。
EPSON OPOS ADK for .NET	OPOS ADK for .NET は、Microsoft POS for .NET 準拠の業界標準のドライバです。 UPOS (UnifiedPOS) 仕様準拠のアプリケーションを開発できます。アプリケーションの開発には、Microsoft Visual Studio .NET などの開発環境をご用意ください。
Epson ePOS SDK	Web アプリケーションやスマートデバイスのネイティブアプリケーションからプリンターを制御するための開発キットです。ライブラリー、マニュアル、サンプルプログラムが含まれます。
for Android	
for iOS	
for JavaScript	

* OLE 技術とは、Microsoft 社が開発したソフトウェアの部品化技術です。OPOS ドライバーは一般的な Windows 用のプリンタードライバーとは異なり、Visual Basic などの開発環境でプログラミングを行うことが前提です。市販のアプリケーションから印刷を実行するためのドライバーではありません。
POS for .NET 仕様書ならびに OLE for Retail POS 仕様書は、OPOS 技術協議会ウェブサイトからダウンロードできます。

<https://www.microsoft.com/ja-jp/business/industry/#OPOS>

ドライバー

名称	概要	動作環境
EPSON Advanced Printer Driver (APD)	一般的な Windows 用プリンタードライバーに、POS 用途特有の制御を追加したドライバーです。また、プリンター状態の監視や ESC/POS コマンドの送信を行うステータス API (エプソン独自提供 DLL) も付属しています。	Windows
EPSON TM Virtual Port Driver	POS アプリケーションから USB/LAN 接続したエプソン製 TM/BA/EU プリンターを仮想的なシリアル / パラレルポートとしてアクセスできるようにするシリアル / パラレル-USB/LAN 変換ドライバーです。 シリアル / パラレル I/F 接続のデバイスを制御していた POS アプリケーションを変更せずに、直接 ESC/POS コマンドで USB/LAN で接続したデバイスを制御できます。	Windows

ユーティリティ

名称	概要	動作環境
TM-T20III Utility	プリンター内部の各種設定値を確認・変更するためのユーティリティです。以下の機能を有しています。 • 現在の設定確認 • 動作テスト • ロゴの登録 • 用紙節約の設定 • 印刷制御の設定 • 通信インターフェイスの設定 • ネットワークの設定 • 設定の保存と復元	Windows
Epson TM Utility	iOS または Android 端末からエプソン TM プリンターの無線接続セットアップ、設定変更およびサンプルレシート印刷をするアプリケーションです。App Store または Google Play からダウンロードできます。	iOS, Android
EpsonNet Config	エプソン製ネットワーク製品のネットワーク設定ツールです。	Windows, Mac
Epson Deployment Tool	ネットワーク設定およびプリンターの設定を一括に行います。TM プリンターの初期導入時、複数の TM プリンターの設定を効率的に行うことができます。	Windows
Epson Monitoring Tool	ネットワークに接続されたエプソン製プリンターの状態を一覧で確認できます。 また、証明書やプリンターの設定を複数台一括で更新できます。	Windows
EPSON TM Bluetooth® Connector	Bluetooth プリンターをペアリングし、生成された Bluetooth ポートを、ドライバーやアプリケーションが使用するポートへ対応付けします。	Windows
EPSON TMUSB Identifier Utility	USB の識別コード (USB Serial No.) を変更するためのツールです。置き換え前の識別コードに設定することで故障交換が簡単になります。	Windows

その他

名称	概要
ePOS-Print XML ユーザーズマニュアル	ePOS-Print XML の構文を説明しています。サンプルプログラムとセットで提供しています。

ダウンロード

各種ソフトウェアとマニュアルは、下記ウェブサイトからダウンロードできます。

www.epson.jp/support/sd/

iOS 用アプリケーション開発および配布について

Bluetooth を使用するアプリケーションソフトを App Store に登録する場合、エプソンからアップル社に事前申請が必要になります。App Store に登録するアプリケーションソフトごとに、以下の URL から申請してください。

www.epson-biz.com/ais/J/

製品の取り扱い

本章では、製品の基本的な取り扱い方法について説明しています。

ロール紙のセットと交換



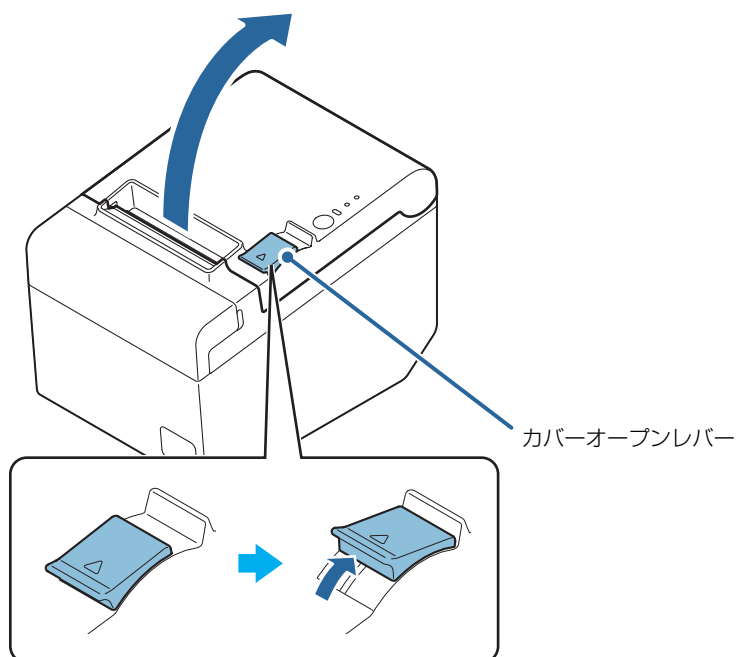
注意

- 印刷中はロール紙カバーを開けないでください。プリンターが損傷するおそれがあります。
- ロール紙の装着、交換時にマニュアルカッターに手を触れないでください。マニュアルカッターは鋭利なため、けがをするおそれがあります。

注意

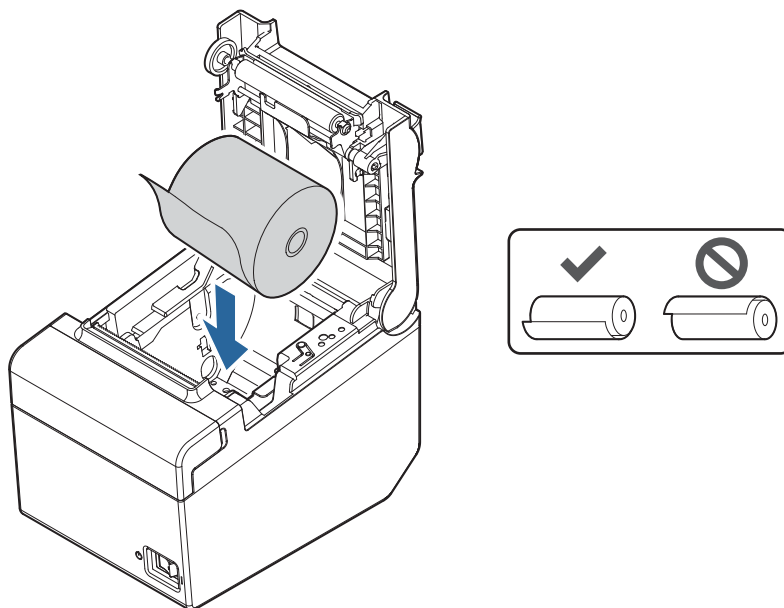
- ロール紙はプリンターの仕様にあったものをご使用ください。用紙仕様の詳細は、[72 ページ「用紙仕様」](#)を参照してください。
- ロール紙は、芯にロール紙がのり付けしてあるタイプのものは使用しないでください。

- 1 カバーオープンレバーを操作して、ロール紙カバーを開けます。

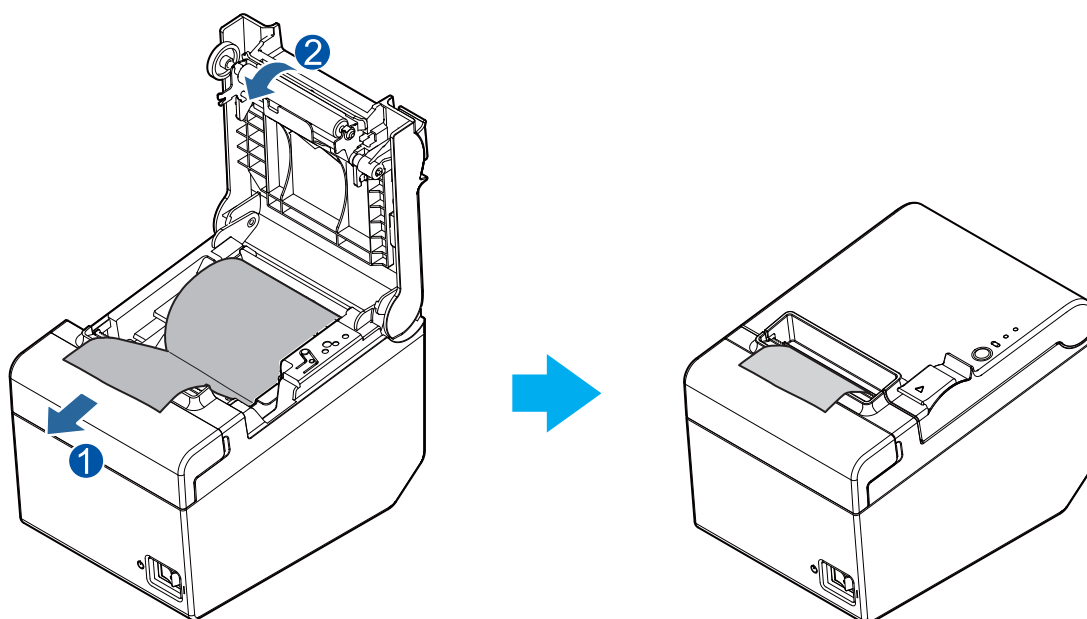


- 2 使用済みのロール紙芯があれば取り出します。

- 3** 巻き方向に注意して、ロール紙をプリンターにセットします。



- 4** ロール紙の先端を少し引き出し、ロール紙カバーを閉めます。



ロール紙が詰まったときは

プリンター内に紙が詰まったときは、無理に紙を引き抜かず、ロール紙カバーを開けて、詰まった紙を取り除いてください。



注意

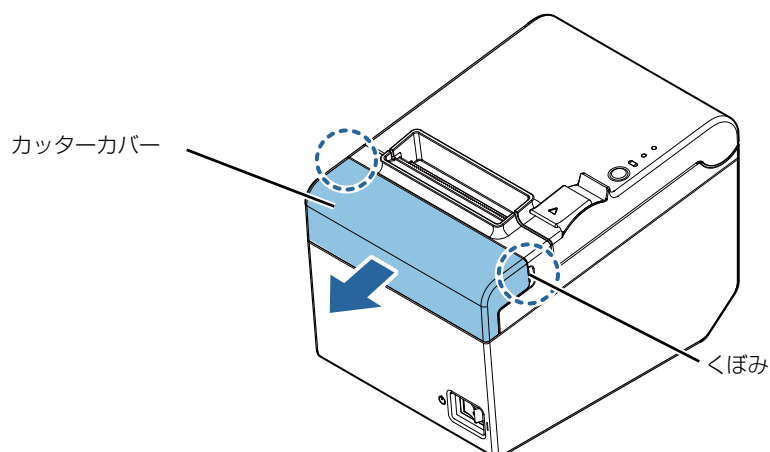
サーマルヘッド（65 ページ「サーマルヘッド / プラテンローラーのお手入れ」参照）に触らないでください。
印刷直後は高温になっていることがあります。

ロール紙カバーが開かないとき

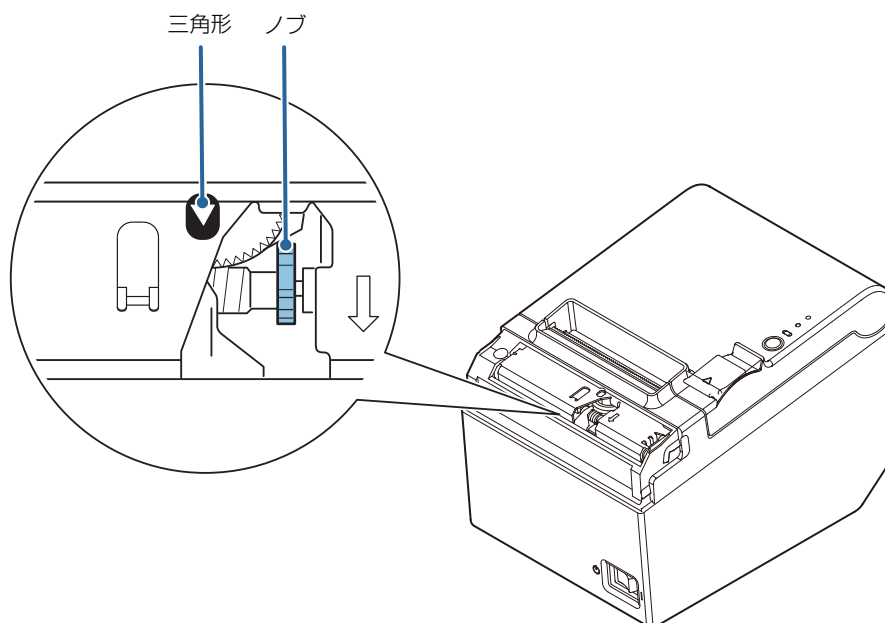
オートカッター部に異物が混入していたり、ロール紙が詰まっていたりすると、オートカッター刃が正しい位置に戻らずロックされることがあります。この場合、カバーオープンボタンを押してもロール紙カバーは開きません。

次の手順に従って、オートカッター刃を正常な位置に戻してください。

- 1 プリンターの電源を切ります。
- 2 カッターカバーを手前にスライドさせて開けます。



- 3** 開口部に三角形が見える状態までノブを回すと、カッター刃が標準位置に戻ります。
操作説明の刻印がカッターカバー裏にありますので参照してください。



- 4** カッターカバーを閉めます。
- 5** ロール紙カバーを開け、詰まった紙を取り除きます。

プリンターのお手入れ

外装面のお手入れ

プリンターの電源を切り、乾いた布か少し湿らせた布で汚れを拭き取ってください。このとき、AC ケーブルは必ずコンセントから抜いてください。



注意

汚れを除去するには、アルコール、ベンジン、シンナー、トリクレン、ケトン系溶剤は使用しないでください。
プラスチックおよびゴム部品を変質、破損させるおそれがあります。

サーマルヘッド / プラテンローラーのお手入れ

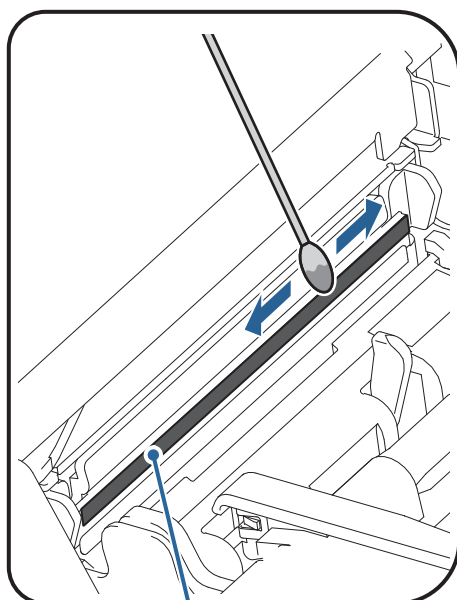
レシートの印刷品質を保つため、サーマルヘッドのお手入れは定期的に（3ヶ月に1回程度）行うことをお勧めします。また、使用する紙によっては、プラテンローラーに付着した紙粉が紙送り不良の原因となることがあります。その場合は、軽く水を含ませた綿棒を使用して、プラテンローラーに付着した紙粉を除去してください。完全に乾いてから、電源を入れてください。

プリンターの電源を切り、ロール紙カバーを開けます。アルコール溶剤（エタノール、またはイソプロピルアルコール）を含ませた綿棒で、サーマルヘッドの発熱素子の汚れを取り除きます。

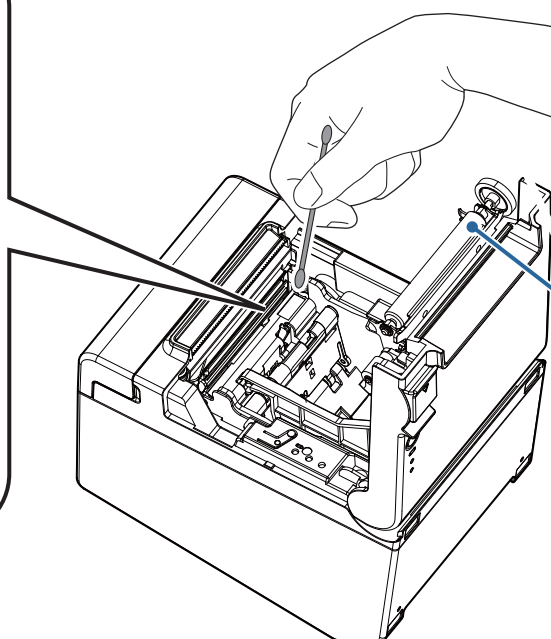


注意

- 印刷後にサーマルヘッドのお手入れをするときは、高温になっている場合がありますので、すぐにサーマルヘッドに触らないでください。しばらく時間をおいて温度が下がるのを待ってからお手入れを行なってください。
- 指や硬い物でサーマルヘッドに傷を付けないようにしてください。



サーマルヘッド



プラテンローラー

輸送時の処置

プリンターを輸送する場合は、以下の手順に従ってください。

- 1** 電源ボタンを操作して電源を切ります。
- 2** パワー LED が消灯したことを確認します。
- 3** AC ケーブルを取り外します。
- 4** ロール紙を取り除きます。
- 5** 上下方向を維持したまま梱包します。

TM-T20II からの置き換え

TM-T20III は、TM-T20II からスムーズに置き換えできるように設計されています。本章では、置き換えの時の注意事項について説明しています。

互換情報

印刷

TM-T20III の印刷仕様と文字仕様は、TM-T20II と同じです。したがって、TM-T20III は特別な設定をなくとも、TM-T20II と同じ印刷結果になります。

印字速度

TM-T20III の印字速度は、TM-T20II よりも高速になっています。

	TM-T20III	TM-T20II
最大印字速度	最大 250 mm/s	最大 200 mm/s
印字速度設定	レベル 1 ~ 13	レベル 1 ~ 13

参考

印字速度は、印刷条件（印字デューティー、ヘッド温度、データ転送速度など）により自動調整されます。

ロゴの登録

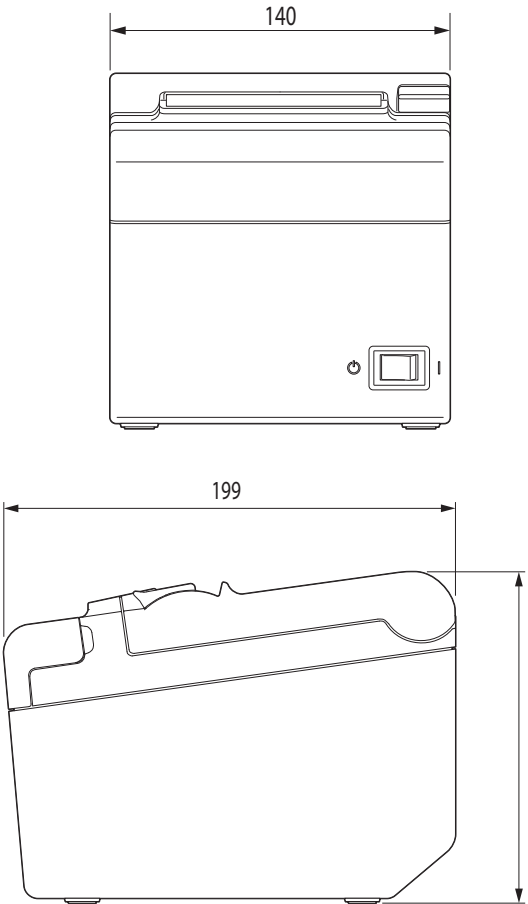
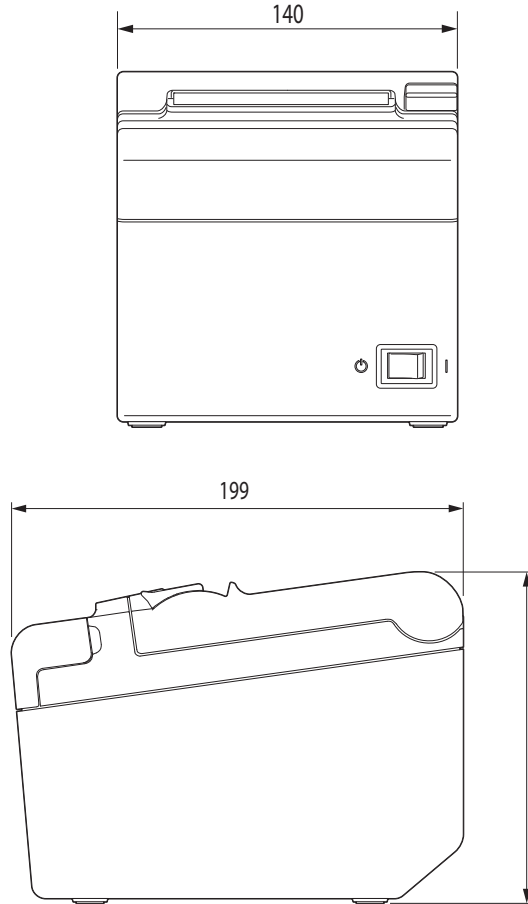
TM-T20III では、設定ユーティリティを使って不揮発性メモリー（NVRAM）にロゴを登録します。
TM-T20II Utility で TM-T20III は使用できません。

ドライバーの互換性

TM-T20II 用のドライバーで TM-T20III を動作させることができます。

外形寸法

TM-T20III の外形寸法および質量は TM-T20II とほぼ同等なため、TM-T20II と同じ場所に設置することができます。

TM-T20III (W:140 × D:199 × H:146 約 1.7 kg)	TM-T20II (W:140 × D:199 × H:146 約 1.7 kg)
	

単位 : mm

付録

製品仕様

印刷方式		ラインサーマル
紙送り速度		約 250 mm /s〔Feed（紙送り）ボタンによる連続紙送り時〕
カット方式		パーシャルカット（左端 1 点切り残し）
インターフェイス		USB：USB 2.0 Full-speed (12Mbps) 有線 LAN：10BASE-T/100BASE-TX Bluetooth® Version 2.1 + EDR
バッファ	受信バッファ	4 KB/45 バイト（メモリースイッチで選択可能）
	ダウンロードバッファ	約 12 KB（ダウンロードビットイメージ、ダウンロード文字兼用）
	NV グラフィックデータ格納エリア	256 KB
	ダウンロードグラフィック格納エリア	208 KB
バーコード / 2 次元シンボル / コンポジット / シンボル印刷		UPC-A, UPC-E, JAN 8 (EAN 8), JAN 13 (EAN 13), CODE 39, ITF, CODABAR (NW-7), CODE 93, CODE 128, GS1-128, GS1 DataBar Omnidirectional, GS1 DataBar Truncated, GS1 DataBar Stacked, GS1 DataBar Stacked Omnidirectional, GS1 DataBar Limited, GS1 DataBar Expanded, GS1 DataBar Expanded Stacked, PDF417, QR CODE, MaxiCode, Composite Symbology, Aztec Code, DataMatrix
ドロアーキックコネクタードライブ機能		2 ドライブ
電源		指定 AC アダプターによる電源供給
AC 消費電力 (100～230 V/ 50～60 Hz)*	動作時	約 29.5 W
	待機時	約 0.80 W
寿命	プリンターメカニズム	1500 万行
	ヘッド	150 km
	オートカッター	150 万カット
	MTBF	36 万時間
	MCBF	6000 万行
温度・湿度		動作時：5℃～45℃、10%～90%RH 保存時：-10℃～50℃、10%～90%RH
外形寸法（H×W×D）		146 × 140 × 199 mm
質量		約 1.7 kg

* : 弊社動作条件における平均電力です。使用条件およびモデルにより異なります。

印刷仕様

			用紙幅 80 mm のとき	用紙幅 58 mm のとき
印字方式			ラインサーマル	
紙送り方向			フリクションフィードによる一方向送り	
ドット密度			203×203 dpi	
印刷領域	通常モード（初期設定）		72.0 mm、576 ドット	52.5 mm、420 ドット
	42 桁モード		68.3 mm、546 ドット	47.3 mm、378 ドット
印字桁数	通常モード （初期設定）	フォント A	48 桁	35 桁
		フォント B	64 桁	46 桁
		漢字フォント	24 桁	17 桁
	42 桁モード	フォント A	42 桁	42 桁
		フォント B	60 桁	31 桁
		漢字フォント	21 桁	15 桁
文字間スペース	通常モード （初期設定）	フォント A	0.25 mm（2 ドット）	
		フォント B	0.25 mm（2 ドット）	
		漢字フォント	0.00 mm（0 ドット）	
	42 桁モード	フォント A	0.38 mm（3 ドット）	0.25 mm（2 ドット）
		フォント B	0.25 mm（2 ドット）	0.25 mm（2 ドット）
		漢字フォント	0.25 mm（2 ドット）	0.00 mm（0 ドット）
改行幅			3.75 mm （初期設定、コマンドにより変更可能）	
最大印字速度*			250 mm/s	

dpi：25.4 mm あたりのドット数（dots per inch）

*：25℃、標準印字濃度の場合

参考

印字速度は、データ転送速度の設定等によって遅くなる場合があります。

文字仕様

			紙幅 80 mm 設定時	紙幅 58 mm 設定時
文字種			英数字：95 文字 拡張グラフィックス：128 文字 ×43 ページ（ユーザー定義ページを含む） 国際文字：18 セット、JIS（JISX0208-1990）：6879 文字 特殊文字：845 文字 JIS コード：2D21 ～ 2D7E、7921 ～ 7C7E シフト JIS コード：8740 ～ 879D、ED40 ～ EEFC、FA40 ～ FC4E	
文字構成 (W×H ドット)	通常モード (初期設定)	フォント A	12×24（横 2 ドットスペースを含む）	
		フォント B	9×17（横 2 ドットスペースを含む）	
		日本語	24×24	
	42 桁モード	フォント A	13×24 (横 3 ドットスペースを含む)	9×17 (横 2 ドットスペースを含む)
		フォント B	9×17 (横 2 ドットスペースを含む)	12×24 (横 2 ドットスペースを含む)
		日本語	26×24 (横 2 ドットスペースを含む)	24×24
文字サイズ* 標準 縦倍角 横倍角 4 倍角	通常モード (初期設定)	フォント A	1.25×3.00 mm 1.25×6.00 mm 2.50×3.00 mm 2.50×6.00 mm	
		フォント B	0.88×2.13 mm 0.88×4.26 mm 1.76×2.13 mm 1.76×4.26 mm	
		日本語	3.00×3.00 mm 3.00×6.00 mm 6.00×3.00 mm 6.00×6.00 mm	
	42 桁モード	フォント A	1.25×3.00 mm 1.25×6.00 mm 2.50×3.00 mm 2.50×6.00 mm	0.88×2.13 mm 0.88×4.26 mm 1.76×2.13 mm 1.76×4.26 mm
		フォント B	0.88×2.13 mm 0.88×4.26 mm 1.76×2.13 mm 1.76×4.26 mm	1.25×3.00 mm 1.25×6.00 mm 2.50×3.00 mm 2.50×6.00 mm
		日本語	3.00×3.00 mm 3.00×6.00 mm 6.00×3.00 mm 6.00×6.00 mm	

注)

*：文字間のスペース分は含まない。64 倍角まで上記標準寸法の倍数に拡大される。

用紙仕様

		紙幅 80 mm 設定時	紙幅 58 mm 設定時
種類		感熱紙	
形状		ロール形状	
寸法	ロール紙外径	最大外径：83 mm	
	巻芯	内径：12 mm 外径：18 mm	
	巻上がり幅	80 + 0.5/-1.0 mm	58 + 0.5/-1.0 mm
	紙幅	79.5 ± 0.5 mm	57.5 ± 0.5 mm
指定ロール紙型番		下記ウェブサイトの「オプション・消耗品」を確認してください。 www.epson.jp/products/tm/	
指定原紙型番		TF50KS-EY、TF60KS-E（日本製紙（株）） PD160R、PD190R（王子製紙（株）） P220AGB-1（三菱製紙（株））	

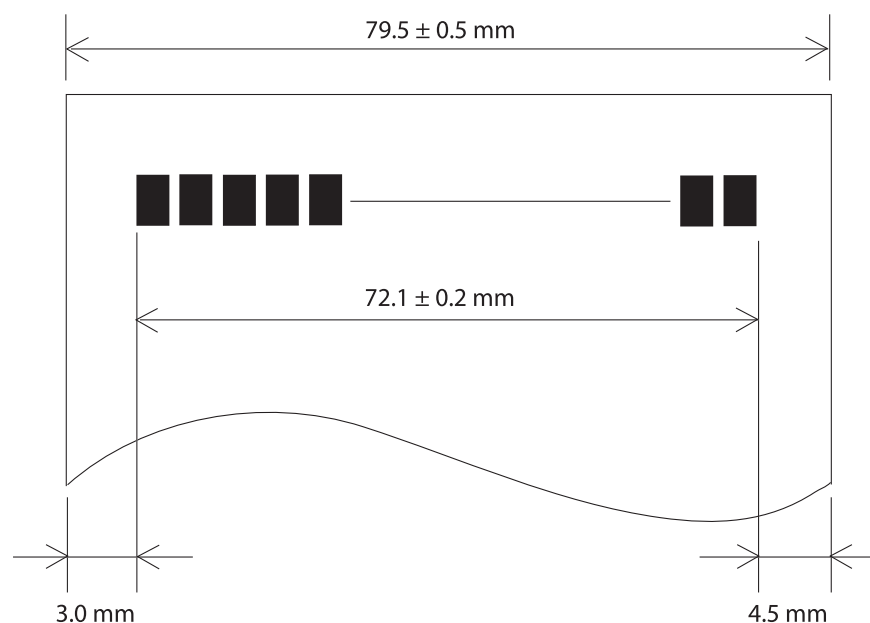
注意

- 用紙が巻芯へ糊付けされているロール紙は使用できません。
- 印刷品質を確保するため、使用するロール紙によって印字濃度の設定（34 ページ「ソフトウェア設定」参照）を変更することをお勧めします。

印刷領域

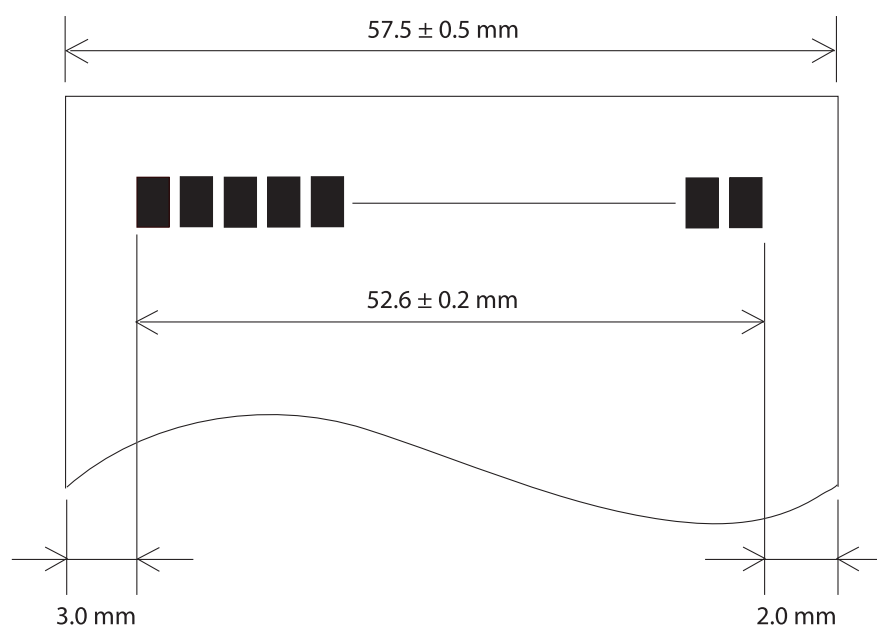
紙幅 80 mm 設定時

最大印字領域は、 72.1 ± 0.2 mm（576 ドット）の印字領域で紙幅 79.5 ± 0.5 mm に対し、左に約 3.0 mm、右に約 4.5 mm のスペースがあります。

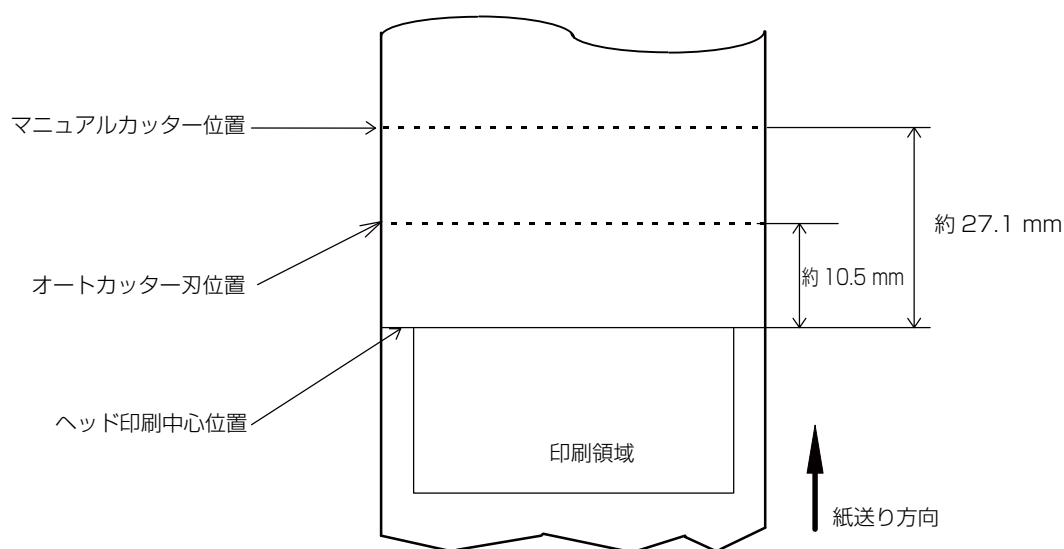


紙幅 58 mm 設定時

最大印字領域は、 52.6 ± 0.2 mm（420 ドット）の印字領域で紙幅 57.5 ± 0.5 mm に対し、左に約 3.0 mm、右に約 2.0 mm のスペースがあります。



印刷位置とカッターの位置



注意

- 紙の「たわみ」や「ばらつき」等があるためカッター切断位置と上記の値には差があります。カッター切断位置は余裕をもって設定してください。
- カットした紙を取る際、切り離し部で紙が引っ張られ、次の印刷のピッチが詰まることがあります。ピッチムラのない印刷のために、紙カット後に印刷を行う場合は、印刷直前に約 1 mm {16/406 インチ} の紙送りの後、印刷を行ってください。
- 長期間紙を入れたままで放置した場合は、約 30 mm の紙送りを実施してください。紙に癖がつき、印刷が薄くなることを防げます。

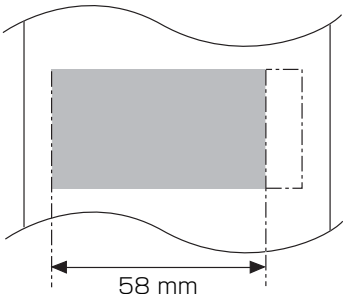
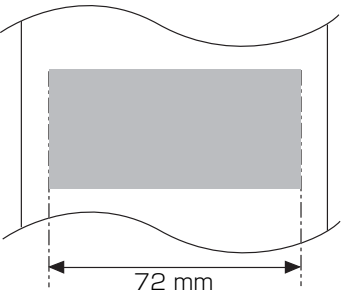
電氣的仕様

動作電圧	DC 24V ± 7%
定格電流	1.5A

注意

高印字率で連続印刷すると、電源の過電流保護が作動し、印刷濃度にムラが起きたり、低電圧エラーが起きたりする可能性があります。高印字率での印刷パターンは、下記の長さを超えないように設定してください。

印字率：1 ドットライン当たりの通電ドット数 / 1 ドットラインの総ドット数（576 ドット）

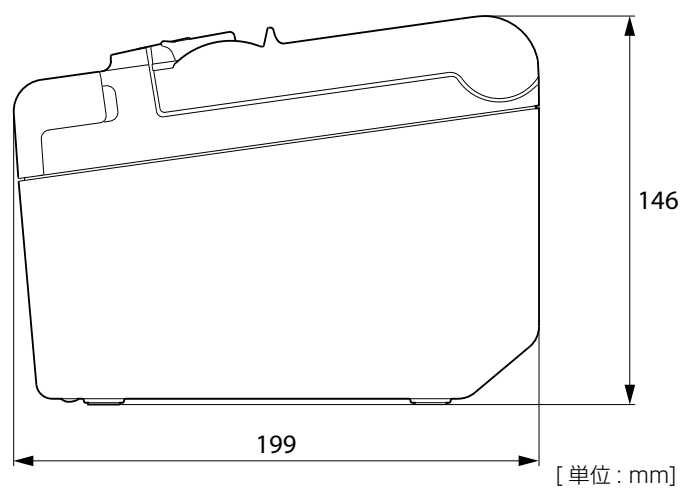
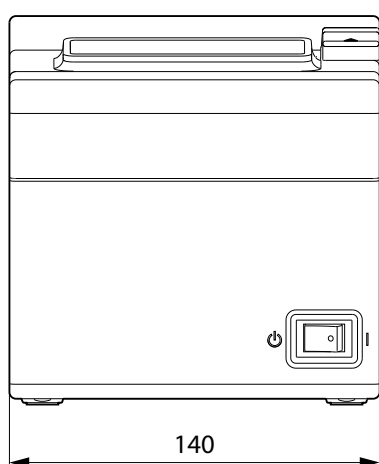
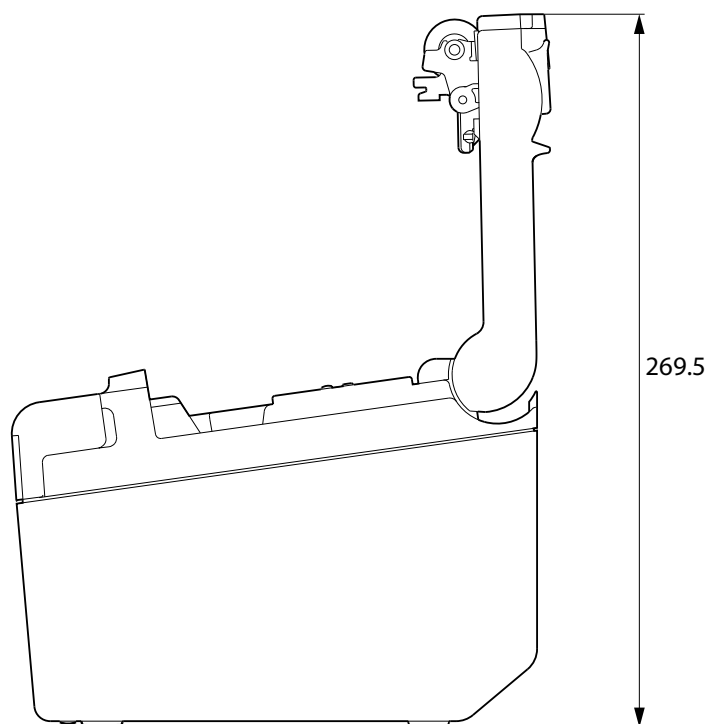
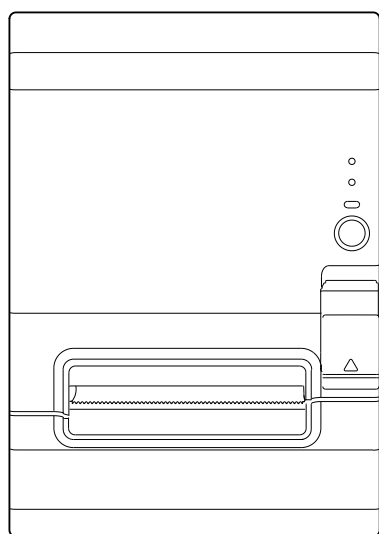
印字率	80%	100%
印刷例		
印刷長さ	30 mm	20 mm

環境仕様

温度／湿度	動作時	5°C ～ 45°C、10% ～ 90%RH 非結露（下図の動作環境範囲参照）
	保存時	-10°C ～ 50°C、10% ～ 90%RH（用紙を除く）
騒音	動作時	約 55 dB (Bystander position) 注) 上記の騒音値は、弊社評価条件による。 使用する用紙と印刷内容、設定値（印字速度、印字濃度）により、騒音値は変わる。

外形寸法図

- 高さ： 約 146 mm
- 幅： 約 140 mm
- 奥行き： 約 199 mm
- 質量： 約 1.7 kg（ロール紙は含まず）



インターフェイスとコネクタ仕様

概要

- 12 Mbps による高速通信 [bps: 1 秒間あたりのビット数 (bits per second)]
- Plug & Play、Hot Insertion & Removable

USB インターフェイス

USB インターフェイスコネクタ

USB type-B コネクタ

USB 通信仕様

USB ファンクション

項目		仕様
全体仕様		USB 2.0 互換
通信速度		Full-Speed (12 Mbps)
通信方式		USB バルク転送方式
電源仕様		USB 自己電源ファンクション
USB バス消費電流		2 mA
USB パケットサイズ (Full-Speed 接続時)	USB バルク OUT	64 bytes
	USB バルク IN	64 bytes
USB デバイスクラス		USB ベンダー定義クラスと USB プリンタークラスの両方をサポート

参考

USB デバイスクラスの設定は、[34 ページ「ソフトウェア設定」](#)を参照してください。

USB ディスクリプター

		USB ベンダー定義クラス	USB プリンタークラス
Vendor ID		04B8h	04B8h
Product ID		0202h	0E28h
String Descriptor	Manufacturer	EPSON	EPSON
	Product	TM-T20III	TM-T20III
	Serial number	製品のシリアル番号に基づく文字列	製品のシリアル番号に基づく文字列

有線 LAN インターフェイス

通信仕様

10BASE-T/100BASE-TX

サポートプロトコル

プロトコル	用途
IP, ARP, ICMP, UDP, TCP	基本通信プロトコル
LP, LPR	印刷用プロトコル
TCP Socket Port	ダイレクトソケット通信（双方向）で、印刷データとプリンターステータスを転送するのに使用
HTTP/HTTPS	ブラウザによる、モジュールの状態表示および設定に使用
SNMP	専用および汎用 MIB ツールによる、モジュールまたはプリンターのステータス取得や、設定に使用
ENPC	モジュールおよびプリンターの、ステータス取得や設定に使用
DHCP	IP アドレスの取得に使用
APIPA	IP アドレスの割当に使用

ネットワークパラメーター

項目	工場出荷時設定
IP アドレス	192.168.192.168*
サブネットマスク	255.255.255.0*
デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0*
IP アドレス取得	自動
APIPA	無効
arp/ping	無効
IP アドレス印刷	有効
Socket Timeout	90 (秒)
標準コミュニティ名 (Read Only)	"public"
コミュニティ名 (Read only)	無し
コミュニティ名 (Read/Write)	無し
SNMP IP Trap 1	無効
SNMP IP Trap 2	無効
通信モード	オートネゴシエーション
IP Filter	無効

* 「IP アドレス取得」を「手動」に設定した場合の初期値。

文字コード表

文字コード表については、下記 URL からアクセスできる「TM プリンター 文字コード表」を参照してください。

www.epson-biz.com/pos/reference_ja/